

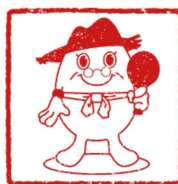
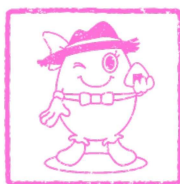
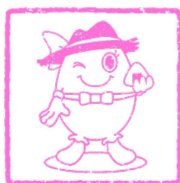
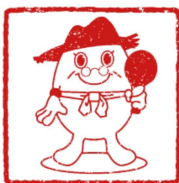
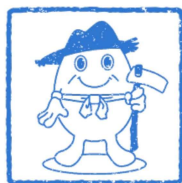
令和 7 年度

第 23 期

遊佐町

少年町長・少年議員
公選事業

活動報告書



令和 8 年 3 月 遊佐町

第23期遊佐町少年町長・少年議員公選事業活動報告書

目 次

活動経過報告	...	1
実施要項	...	2
立候補者募集チラシ	...	5
少年町長・少年議員公選事業 少年議会広報	...	6
第23期少年町長・少年議員一覧	...	8
有権者（町内在住・在学中高生）向けアンケート	...	9
アンケート集計	...	10
一般質問・政策提言 一覧	...	14
第2回少年議会 – 施政方針・一般質問・政策提言		
町からの回答	...	15
ゆざまち防災キャンプ（政策①）	...	31
遊佐町PRの葉の製作（政策②）	...	34
町議会議員との意見交換会	...	36
その他町内行事への参加	...	37
第3回少年議会 – 全体総括・議会報告	...	40
（資料）		
遊佐町少年町長・少年議員公選事業説明資料	...	51
広報ゆざ 令和7年8月1日号（少年議会スタート）	...	56
プロジェクト委員名簿	...	57

令和7年度 第23期遊佐町少年町長・少年議員 活動日程

No.	期 日	活 動	場 所	備 考
1	5月1-16日	立候補受付期間		
2	6月5-18日	投票受付期間		
3	6月18日	開票作業	遊佐町生涯学習センター	町長選&議員選
4	6月23日	当選証書付与式及び第1回少年議会	※1	所信表明
5	6月27日	選挙啓発音源の収録	遊佐町役場無線室	2名が参加
6	6月29日	町内巡り、第1回全員協議会	※1	
7	7月3-7月31日	第2-6回全員協議会	※1	アンケートの集計、政策、一般質問の決定 7月3, 10, 17, 24, 31日
8	8月6日	杉沢比山解説	杉沢地区	文化係と協力
9	8月21日	第2回少年議会	※1	独自政策の報告、町への一般質問
10	8月28日 -11月27日	第7-19回全員協議会	※1	独自政策実現に向けての討議 8月28日、9月4, 11, 18, 25日、10月2, 9, 16, 23, 30日、31日、11月6, 13, 20, 27日
11	9月6日、7日	ツーデーマーチ ラジオ出演	遊佐町民体育館	ウォーカーへのエール、ラジオ出演
12	9月26日	遊佐町議会議員との意見交換会	遊佐町役場議場	
13	10月11日	鹿の角切りイベント	大平山荘	4名が参加
14	10月20日	新「道の駅鳥海」愛称公募審査会	遊佐町役場議場	審査委員として少年町長が出席
15	11月23日	政策① ゆざまち防災キャンプ	遊佐町生涯学習センター	
16	11月27日	政策② 遊佐町PRの葉の作成	遊佐町生涯学習センター	
17	12月19日	第3回少年議会	※1	事業報告
18	1月20日	選挙啓発音源の収録	遊佐町役場無線室	3名が参加
19	1月20日	新「道の駅鳥海」ロゴ公募審査会	遊佐町役場議場	審査委員として少年町長が出席
20	2月15日	検討会、まちづくり研修	遊佐町生涯学習センター	

※1 全員協議会は基本的に遊佐町生涯学習センターで行い、少年議会は遊佐町役場議場で行う

※2 各市区町村からの行政視察等の事務局だけで対応したものを除く

遊佐町少年町長・少年議員公選事業実施要項（第23期）

1. 名称 「遊佐町少年町長・少年議員公選事業」

2. タイトル 「若者の力で、遊佐の未来をつくろう」

常に、歴史は若者によって創られてきました。地域の青年たちは、いつでも地域を変革していく「力」を蓄えています。青年たちが自分たちの住むまちを自分たちの協働の「力」で変革しはじめるとき、時代が拓かれ地域の民主主義が再生します。そして、地域の中で若者たちが生活者として認識され、若者たちの居場所と役割が地域の中に見えてきます。そのことを通じて、若者が生き生きと生活していく自立した地域が再生されます。

3. スローガン

自分たちの力で、自分たちが本当に求める遊佐のまちをつくろう。

遊佐町は、私たちが生まれ育った町です。鳥海山、月光川、庄内砂丘と日本海に抱かれ、豊かな自然や歴史風土あふれる町です。

21世紀をむかえ、私たちの前には地球規模での自然環境の悪化、エネルギー、食糧、少子化・高齢化、さらに、民族問題、経済格差などの新たな問題や課題が横たわっています。改めて、これまでの社会、経済そして私たちの「生き方」「あり方」「生活の仕方」そのものの大転換が迫られています。

そして、さらに私たちを取り巻く仕組みの大きな変化として「分権社会」が到来し、自分たちの生き方を自分たちが決めていくという社会システムを構築していくことが求められています。

こうした状況をふまえて、こどもたちにおいては、勉強ができスポーツが上手であればそれでよしという時代ではなくなっているというのが現状です。その上で、人間らしく「生きる力」を育成し、開かれた個としての人格の完成に向けて、これまで以上に、こどもたちが社会とつながる活動を大切にしていくことが重要です。その過程を通して、気づき、考え、行動し、表現する。そのことによって、培われた「学力」は、一層生きて働く方向性を見出していきます。

本事業を通して、若者たちの意見や願いをもとに若者の力で遊佐町の地域づくりを行うと共に、相互教育を行おうとするものです。

4. 事業のねらい

- (1) 若者たちが、自らの代表を直接選び、政策を実現していくことで、学校外で民主主義を実際に体験・学習することにより社会の構成システムを学ぶ。
- (2) 中高校生等の未来を担う若者の視点から、町政への提言や意見を町が積極的に採り上げることを通じて、若者の町政参加を促す。
- (3) この事業に関わるすべての関係者が、若者の町政に対する意見に学び、併せて若者たちが、社会システムや民主主義を学ぶ、相互教育の場とする。

5. 少年町長・少年議員の対象者

対象者は、遊佐町在住の中高校生及び遊佐町に通学する高校生とする。
対象者はだれでも、少年町長及び少年議員の選挙権と被選挙権をもつ。
また、少年議員は、自らの政策立案権と少年町長の議案審議権を有する。

6. 構成員

(1) 少年町長（1名）

対象者のうち少年町長に立候補し、全有権者の投票により信任された者

(2) 少年議員（10名）

対象者のうち少年議員に立候補し、全有権者の投票により信任された者

(3) 少年副町長・少年監査・少年事務局長・少年事務局次長

特に必要があると認められるときに、少年町長・少年議員に立候補し、
当選しなかった者のうちから委嘱する者。または、少年議員を除く
少年町長・少年議会の対象者のうちから少年町長が選任する者

7. 少年町長

少年町長は、遊佐町少年町長・少年議員公選事業にかかる全ての有権者の代表であり
少年議会で承認された政策の実現のため遊佐町長に対して、予算要求を行う権限をもつ。
また、遊佐町長より交付された政策予算の予算執行権をもつ。

8. 少年議員

少年議員は、少年町長が招集し議案を提案し承認を得る。少年議員は、最初の議会に
議長及び議長代理を選任するとともに、少年町長の議案審議を行う。
併せて、自ら少年政策立案を少年議会の場で行うことができる。

9. 少年副町長

少年町長を補佐し、少年町長不在の場合、臨時的に政策実現における執行権限をもつ。

10. 少年監査委員

少年監査委員は、少年議会の附属機関として、予算執行に関する監査権をもち、少年町
長に勧告することができる。

11. 少年事務局長

少年事務局長は、少年議会の附属機関として、全員協議会の運営の手伝い、その他の事
務処理等を行うことができる。

12. 少年事務局次長

少年事務局次長は、少年議会の附属機関として、少年事務局長の指示の下、全員協議
会の手伝い、事務処理等を行うことができる。

13. 事業期間

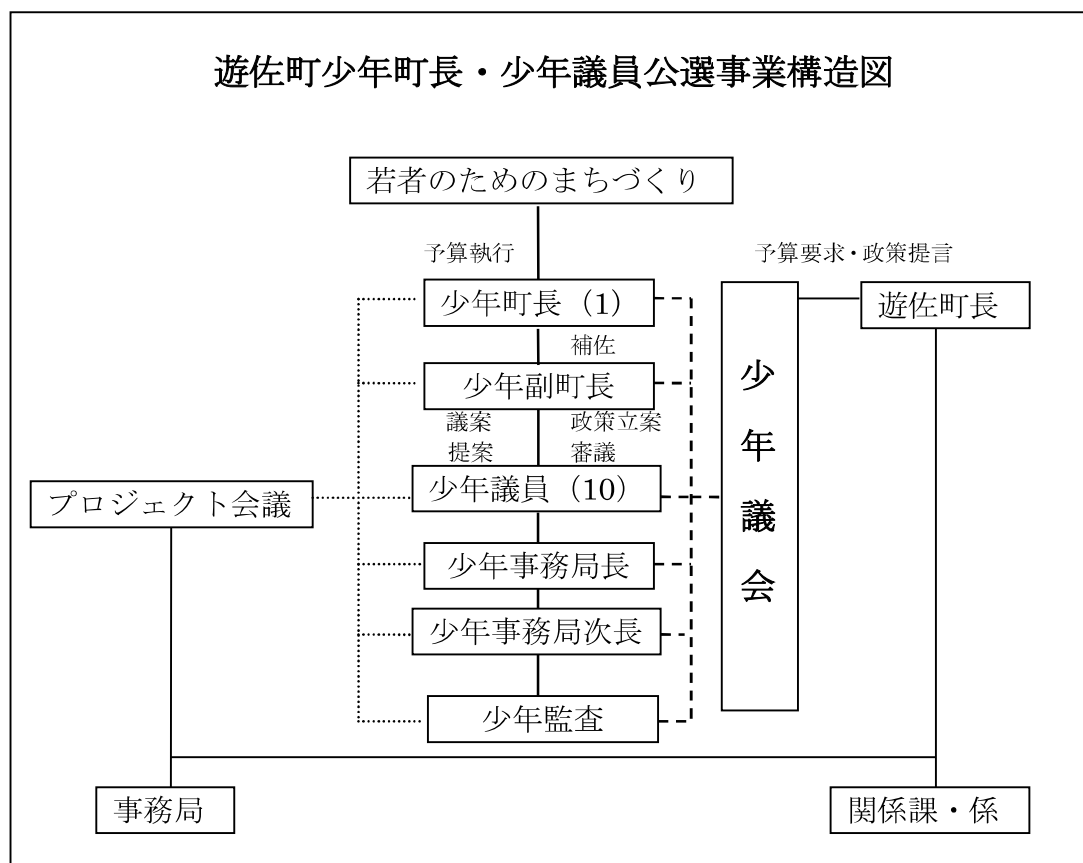
該当年度の 4 月～12 月とする。ただし、少年町長・少年議会から要望があるときは延長することができる。

14. 事業スケジュール（概案）

別紙参照

15. 政策予算

全期間を通じて 450,000 円とする。但し、町への提言に伴う予算は、所轄課で予算化する。



明日の遊佐町に
わたしたちは
提案します!

いま
中高生しかできないことがある!

自分たちの
アイデアを
実現しよう!

少年町長・少年議員

第23期

立候補者募集中

受付期間 2025 5/1(木) ▶ 5/16(金)



Make a 名画



Weスポーツ!



1. 選ぼう!

遊佐町に在住・在学の中高生の中から「少年町長」「少年議員」として活動してみたい人の立候補を受け付けます。定数を超えた場合は投票を行い当選者を決定します。

立候補受付期間

2025年
5/1(木) ▶ 5/16(金)

公選で選ぶ人

①少年町長 1名 ②少年議員10名

※定数を超えた場合などには、少年副町長や少年監査などへ就任してもらいます。

立候補の仕方

直接持参またはFAXによる届け出、もしくは各学校の先生へ用紙を提出してください。

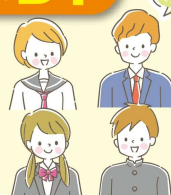
2. 討議しよう!

少年町長・少年議員だけで集まり、町への要望や独自の政策など話し合いをする全員協議会は学校の勉強や部活動などを考慮して日にちを決めています。

(例:平日の夜、土日の日中など)

3. 実現しよう!

中高生の声を採り上げ、町へ直接要望を伝えたり、少年議会独自の政策を45万円の予算を用いて実現していきます。



昨年度の
活動は
こちらから見られます

Check



問い合わせ
連絡先

遊佐町教育委員会教育課社会教育係 (遊佐町遊佐字鶴田52-2 遊佐町生涯学習センター内)
TEL.0234-72-2236 FAX.0234-71-1222
MAIL:youthgikai@town.yuza.lg.jp

遊佐町少年議会

検索

【第23期】遊佐町少年町長・少年議員公選事業 立候補届

立候補 少年町長・少年議員 (立候補したい方をマルで囲んで下さい)	立候補の抱負
ふりがな	
氏 名	
住 所	
連絡先	
mailアドレス	
学校名 () 学年	

※立候補の仕方は直接持参またはFAXによる届け出、もしくは各学校の先生へ用紙を提出してください。



遊佐町少年町長・ 少年議会広報

明日の遊佐町に、ほくたちは、わたしたちは、提案します

第23期少年町長・副町長・議員・監査・事務局長・事務局次長など 議会構成のお知らせ

※各立候補者の選挙後に確定した役職のみを公開致します。
得票数の公開は致しませんので、ご了承ください。

遊佐町少年町長・副町長

少年町長



酒田南高校3年

(地区／高瀬)

さとう かえで
佐藤 楓

私は高校生活の2年間少年町長をし、「中高生だからできること」「世代間交流」「未来の遊佐のため」などの面から様々な活動をしてきました。今年度は私が少年議会として活動できる最後の年なので、これまでの活動のブラッシュアップをし、今年度の少年議会の人たちのサポートをしたり、これからの少年議会がさらに活躍できる土台を作ったりしていきます。

少年 副町長



遊佐高校2年

(地区／遊佐)

さの ゆうと
佐野 結人

私は昨年度、少年監査として少年議会の活動に参加してきました。今年は、さらに遊佐町を盛り上げられるような活動ができるようにしたいと思います。昨年度の経験を生かして精一杯頑張ります!!

◎少年町長・少年議員の活動内容は、遊佐町HPからご覧になれます!!

<http://www.town.yuza.yamagata.jp/>

●遊佐町少年町長・少年議員公選事業事務局 ●遊佐町教育委員会教育課社会教育係

〒999-8301 遊佐町遊佐字鶴田52-2 遊佐町生涯学習センター内

Tel.0234-72-2236 Fax.0234-71-1222 Mail:youthgikai@town.yuza.lg.jp

遊佐町少年議員



いけ だ かな
池田 菜菜

遊佐中学校2年
(地区／高瀬)

昨年少年議会を経験させていただいた際に、大好きな遊佐町の方々と
の関わりを多く経験させていただき、それがきっかけで楽しさとやりがいを感じ
ることができたので今年も立候補させていただきました。県外での経験を
生かし、たくさんの人から魅力を感じていただけるような政策や遊佐町を作
っていかれたらと思っています。よろしくお願いします。



あべ そら
阿部 颯空

遊佐中学校3年
(地区／吹浦)

遊佐町は、山・川・海と豊かな自然に恵まれています。しかし、県
外からはそのことが認知されていません。そこで、インターネットを
駆使して、遊佐町をPRしたり、自然を活かしたイベントを企画したり
したいと考えています。よろしくお願いします。



こく ぶん い つ み
國分 いつみ

遊佐中学校3年
(地区／西遊佐)

今回、少年議会で頑張りたい目標は2つあります。1つ目が最高のアイデア
を出すことです。中学生だからこそ出せるアイデアを考え実行し、遊佐町を盛
り上げたいです。2つ目が決めたことをやり抜くことです。物事をできないから
と諦めず、どうしたらできるかを試行錯誤して1つのことをやり上げたいと思
います。この2つの目標を心に刻み議事を頑張りたいと思います。



さい とう ゆ う り
齋藤 由美里

遊佐中学校3年
(地区／西遊佐)

前から興味を持っていて、遊佐町のために私も何かしてみたいと
思ったからです。少年議会に入ったら遊佐町を活気付け、より良い町
にしていきたいと思っています。



すが わら みなと
菅原 湊

遊佐中学校3年
(地区／稲川)

僕は遊佐町の豊かな自然が大好きです。しかし、その美しい自然
の中にも、海岸のゴミなど、まだ解決すべき課題が残っています。こ
うした問題に向き合い、自分にできることを考え行動したいと思い、
少年議会への参加を希望しました。



はた なか あき ら
畠中 彪良

遊佐中学校3年
(地区／吹浦)

一昨年度、昨年度に引き続き、今年も自分の住む町の為に何かし
たいと思い、立候補しました。自分も遂に受験生、来年度からはこ
の事業に参加できなくなる可能性が高いからこそ、今、同志と遊佐
町をより良くしていきたいです。



まつ もと る な
松本 琉奈

遊佐高校1年
(地区／藤岡)

私は、自分自身に自信がなく、新しいことに挑戦することがあまり
好きではありませんでした。ですが、高校生になった今、どんどん新
しいことに挑戦し、自分を变えたいと思っています。



もり おか こう し ろう
森岡 皇士郎

遊佐高校2年
(地区／遊佐)

私は昨年度もこの少年議会に参加させていただきました。とても貴重で
楽しい経験をさせていただきました。今年度もまた、遊佐町のため
に自分たちにできることを仲間と一緒に考え、実行していきたいと
思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



まつ もと なお や
松本 直也

遊佐高校3年
(地区／藤岡)

私は生まれてから今までずっと遊佐町にお世話になってきまし
た。自然は豊かで水もおいしく、とても居心地のよい場所です。高校
生活最後の年は遊佐町のために何かしたいと思い立候補しました。
過去の経験を活かして、より一層頑張ります。



やす おか み ゆう
安岡 心結

遊佐高校3年
(地区／遊佐)

今期で3度目の活動となり、昨年は副議長として活動しました。今年の目標は次世代へ
とつながる取り組みをすることです。昨年のウォールアート政策では初めて絵具に染れた男
の子に出会いました。その姿を見て、この活動が彼が中学生になっても続き、これからも素
敵な政策が生まれ続けてほしいと強く感じました。今年は遊佐町の商品開発にも挑戦し
たいと考えています。積極的に意見を発信し、次世代に残るような活動をしていきます。



かな ざわ めい
金澤 鳴

遊佐高校1年
(地区／遊佐)

私は県外から遊佐町に来ました。そのため、地元では経験できな
いことをやってみたいと思い、立候補しました。少年議会に入ったら
積極的に人と関わり遊佐町をもっとより良い町にしていきたいです。



まつ もと あ さ
松本 杏彩

遊佐高校2年
(地区／遊佐)

去年1年、事務局次長として少年議会に参加させていただきました。
県外から遊佐町に来て早2年目となります。遊佐町の方ともしっかり関わりを
増やし広げていき、さらに、自分自身でできる形で遊佐の方々に感謝を伝
えられるようにしたいと考えております。よろしくお願いします。



むら かみ つ か さ
村上 つかさ

遊佐高校2年
(地区／遊佐)

私は昨年少年議会で様々な経験をする事ができ、とても充実した1年を
過ごすことができました。私はより深い経験を得るために今年度も立候補
することを決めました。今年度の少年議会では、人前での活動を増やしてい
きたいと考えています。遊佐町の活性化のため、私自身の成長のため、精一杯活
動に貢献していきたいと思っています。



さ とう のど か
佐藤 和香

遊佐高校3年
(地区／酒田)

私は2年間、少年議員として遊佐町のことを今までよりもさらに
良くできるように頑張ってきました。そして最後の年も遊佐町に貢献
できるように頑張りたいと思っています。



なが はら た び と
永原 たびと

遊佐高校3年
(地区／遊佐)

遊佐町の課題を見出し、その解決策を提案するために積極的に議
論したい。自分にもできると感じたら積極的に手をあげたい。



いし だ み づき
石田 美月

遊佐高校3年
(地区／遊佐)

今年度で最後の立候補なので、今までの経験を生かして、遊佐町
を盛り上げたいと思います。今の遊佐町には何が必要なのか、全員
で話し合いを繰り返しながら考えていきたいです。



ど もん まな と
土門 慎音

遊佐中学校1年
(地区／藤岡)

僕は少年議会の一員として、友達の声がたくさん聞いて、その声を
遊佐町に届けたいと思います。そして、みんなの声が少しでも形に
なって、この遊佐町が楽しい町になってくれるような活動をしていき
たいです。



たか さか かな と
高坂 叶夢

遊佐中学校3年
(地区／遊佐)

遊佐町に住んでいるけど、まだ自分が知らないことがあるかもしれ
ないから、遊佐町のことをもっと知りたいから。遊佐町をもっと住
みやすい場所にしたいから。



さい とう れい か
齋藤 玲華

遊佐高校1年
(地区／酒田)

私は少年議会の一員としてイベントなどをやり、遊佐町の人々との
交流を増やし、仲を深めていきたいと思っています。例えば、週に1
回どこかでミニゲームや物作りをしたりすると、協力し合えて、仲が
深まると思います。



まえ た はるか
前田 彩花

遊佐高校1年
(地区／酒田)

普段酒田市で生活していて体験できないようなことを活動を通し
て体験してみたいです。他にも地域の人や他の学生さんなどの色々
な人とたくさん関わってみたいです。

第 23 期 少年議会メンバー

少年町長

1.	佐藤 楓（さとう かえで）	酒田南高等学校 3 年	高瀬
----	---------------	-------------	----

少年副町長

1.	佐野 結人（さの ゆうと）	遊佐高等学校 2 年	遊佐
----	---------------	------------	----

少年議員

1.	池田 栞菜（いけだ かなな）	遊佐中学校 2 年	高瀬
2.	阿部 颯空（あべ そら）	遊佐中学校 3 年	吹浦
3.	國分 いつみ（こくぶん いつみ）	遊佐中学校 3 年	西遊佐
4.	齋藤 由芙里（さいとう ゆうり）	遊佐中学校 3 年	西遊佐
5.	菅原 湊（すがわら みなと）	遊佐中学校 3 年	稲川
6.	畠中 彪良（はたなか あきら）	遊佐中学校 3 年	吹浦
7.	松本 琉奈（まつもと るな）	遊佐高等学校 1 年	蔵岡
8.	森岡 皇士郎（もりおか こうしろう）	遊佐高等学校 2 年	遊佐
9.	松本 直也（まつもと なおや）	遊佐高等学校 3 年	蔵岡
10.	安岡 心結（やすおか みゆう）	遊佐高等学校 3 年	遊佐

少年監査

1.	金澤 鳴（かなざわ めい）	遊佐高等学校 1 年	遊佐
2.	松本 杏彩（まつもと あさ）	遊佐高等学校 2 年	遊佐
3.	村上 つかさ（むらかみ つかさ）	遊佐高等学校 2 年	遊佐
4.	佐藤 和香（さとう のどか）	遊佐高等学校 3 年	酒田
5.	永原 たびと（ながはら たびと）	遊佐高等学校 3 年	遊佐

少年事務局長

1.	石田 美月（いしだ みづき）	遊佐高等学校 3 年	遊佐
----	----------------	------------	----

少年事務局次長

1.	土門 慎音（どもん まなと）	遊佐中学校 1 年	蔵岡
2.	高坂 叶夢（たかさか かなと）	遊佐中学校 3 年	遊佐
3.	齋藤 玲華（さいとう れいか）	遊佐高等学校 1 年	酒田
4.	前田 彩花（まえた はるか）	遊佐高等学校 1 年	酒田

遊佐町少年議会 アンケート

遊佐町のこれからのまちづくりのために、中学生・高校生のみなさんの考えをお寄せ下さい！
少年町長・少年議員にあなたの意見をとどけましょう！

1-1. 遊佐町にどんな町になってほしいですか？

例) ○○な町、△△がある町 など



2-1. 遊佐町は若者の想いや声を取り入れたまちづくりをしていると思いますか？

- ・とても思う
- ・思う
- ・あまり思わない
- ・思わない

2-2. そのように思った理由があればご記入下さい。



3-1. あなたは今までの少年議会の活動について何か知っていますか？

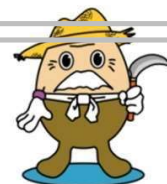
- ・知っている
- ・知らない

3-2. 「知っている」と答えた人にお尋ねします。どの活動が一番印象に残っていますか？



少年議会に何をしてほしいですか？

4-1. 遊佐町で行ってほしいイベントはありますか？



4-2. 遊佐町につくってほしいものはありますか？

4-3. 少年議会と一緒に活動してみたいことはありますか？



☺ご協力ありがとうございました。

☺今後の少年議会の活動に、ご協力と応援をお願いいたします。

第 23 期少年議会アンケート集計

1-1. 遊佐町にどんな町になってほしいですか？

1-1 内容		
賑やかな町、活気ある町 (72)	自然豊かな町 (62)	暮らしやすい町 (40)
楽しい町 (31)	平和、安心して暮らせる町 (29)	人気な町、誇れる町 (20)
お店が沢山ある町 (16)	綺麗な町、ゴミがない町 (12)	遊び場が多い町 (11)
人が集まる町、人口が多い町 (11)	笑顔が絶えない町 (10)	地域仲が良い町 (10)
観光スポットが多い町 (9)	今のまま、変わらない町 (9)	移動に不便がない町、快適な町 (8)
人同士が助け合える町 (7)	程よく都市化が進んだ町 (6)	持続可能な町、未来がある町 (6)
イベントが多い町 (5)	若者の意見が反映される町 (5)	食が豊かな町 (5)
お金がある町 (4)	飽きない町 (4)	良い町 (4)
人が優しい町 (4)	残りたくなる町、戻ってきたくなる町 (3)	教育がしっかりしている町 (2)
差別のない町	雇用のある町	農業が盛んな町

2-1. 遊佐町は若者の想いや声を取り入れたまちづくりをしていると思いますか？（あてはまるものに○をつけてください。）

2-1	票数	割合	2-1	票数	割合
とても思う	103	23%	あまり思わない	102	23%
思う	194	44%	思わない	33	8%
			無回答	7	2%

2-2. そのように思った理由があればお答えください

2-2	内容
とても思う	・少年議会がある ・少年議会がイベントを開催している ・毎年アンケートがある（少年議会）
思う	・少年議会の存在がある ・ボランティア活動が盛んだから ・図書館が充実しているから ・看板が目立つから
あまり 思わない	・若者向けのイベントが少ない ・若者の遊ぶ場所が少ない ・少年議会以外で発信の場がないため（匿名での発信を希望） ・人が増えていない ・高齢者向けのものしかない ・活動内容をする場所がない ・街灯が少ない
思わない	・声が届いていないから ・活動を知らないから ・店が少ない ・事例が少ない
無回答	・何をしているか知らない

3-1. あなたはこれまでの少年議会の活動について何か知っていますか？

3-1	票数（計 439 票）	割合
知っている	110	25%
知らない	320	73%
無回答	9	2%

3-2. 「知っている」と答えた人にお尋ねします。どの活動が一番印象に残っていますか？

3-2		
ベンチ製作（27）	米～ちゃん誕生（13）	スポーツゴミ拾い（10）

ボランティア (8)	カルタ (8)	ウォールアート (8)
スポーツイベント (8)	鹿の角切 (7)	階段アート (6)
街灯の設置の働きかけ (3)	全員協議会 (3)	ゆざマルシェ (2)
1 票	町体へのリングの設置、お弁当配り、イベントや祭りへの参加、清掃活動、特産品の開発、ハンガリーとの交流、モルック	

4-1. 遊佐町で行ってほしいイベントはありますか？

4-1	票数	内容
祭・イベント	147	もっと町の祭を増やして欲しい (46)、全世代が楽しめるイベント (30)、スポーツ系〈バスケ、マラソン、サイクリング等〉 (18)、音楽イベント (13)、グルメ系 (12)、今あるイベントの継続 (4)、有名人の講演会 (4)、制作系〈工芸品、キーホルダー等〉 (4)、ボランティアイベント (3)、フリマ (2) 動物関係イベント、ツーデー、ハロウィン、鳥海登山ツアー、野外シネマ、脱出ゲーム、地引網漁体験、スタンプラリー、イルミネーション、芋煮会、BBQ
大会	8	花火大会 (4)、大食い大会 (2)、ビンゴ大会、ゲーム大会
取組	2	工芸品を伝える取り組み、自動販売機設置運動

4-2. 遊佐町につくってほしいものはありますか？

4-2	内容
施設関係	公園・遊ぶところ (28)、フリーWi-Fi のある学習スペース (7)、映画館 (4) バスケットコート (3)、大きい公園 (2)、インドアのテニスコート (2) 橋〈上古出前〉、遊佐ドーム、休日に開いている学童、100 円自動販売機、スタジオ、弓道場、グリーンエネルギーの発電所

飲食店	飲食店 (26)、カフェ (7)、マクドナルド (5)、スターバックス (3)
店舗関係	コンビニ (31)、ショッピングモール (11)、ゲームセンター (8)、ドン・キホーテ (5)、コストコ (2)、スポーツセンター (2)、カラオケ、動物園、ポケモンセンター、ホロライブショップ
物、小物	プリクラ (5)、街灯 (3)、横断歩道 (3)、米〜ちゃんの銅像 (2)、花壇 (2)、バスケットリング (2) 遊具、掲示板、ベンチ、カーブミラー、オリジナルグッズ、エルパ前のバス停を雨風が凌げるように改良してほしい、パノラマパーク周りの街灯、防波堤・魚礁
その他	

4-3. 少年議会と一緒に活動してみたいことはありますか？

4-3
ボランティア〈清掃等〉(6)、既存のイベント (4)、町のイベントの手伝い (3)、特産品開発 (2) ソーデーマーチ、釣り、草刈り

第23期少年議会 第2回少年議会 一般質問・政策提言一覧 R7.8.21

発言順	役職	氏 名	所属名	学年	内容区分	内容主旨	備考
1	少年町長	佐藤 楓	酒田南高校	3	一般質問 (町への要望)	◇ フリーWi-Fiが使用可能な学習スペースの設置について	教育課
2	少年監査	松本 杏彩	遊佐高校	2			
3	少年事務局次長	前田 彩花	遊佐高校	1			
4	少年議員	阿部 颯空	遊佐中学校	3		◇ 部活動のクラブ化による金銭的な負担増を軽減するための助成金の創設について	教育課
5	少年議員	國分 いつみ	遊佐中学校	3			
6	少年議員	齋藤 由芙里	遊佐中学校	3			
7	少年議員	畠中 彪良	遊佐中学校	3		◇ スクールバスの停車位置の見直しについて	教育課
8	少年副議長	松本 直也	遊佐高校	3			
9	少年議員	松本 琉奈	遊佐高校	1			
10	少年議員	森岡 皇士郎	遊佐高校	2		◇ 街灯の設置について	総務課
11	少年監査	村上 つかさ	遊佐高校	2			
12	少年事務局次長	齋藤 玲華	遊佐高校	1			
13	少年監査	佐藤 和香	遊佐高校	3	少年議会独自の 政策提言	◇ 遊佐の自然を体験できるイベントの開催	
14	少年議長	安岡 心結	遊佐高校	3			
15	少年監査	永原 たびと	遊佐高校	3			
16	少年議員	菅原 湊	遊佐中学校	3			
17	少年事務局次長	高坂 叶夢	遊佐中学校	3			
18	少年事務局次長	土門 慎音	遊佐中学校	1			
19	少年事務局長	石田 美月	遊佐高校	3		◇ 遊佐の知名度を上げる活動の実施	
20	少年監査	金澤 鳴	遊佐高校	1			
21	少年議員	池田 葉菜	遊佐中学校	2			

少年議会

【 施政方針・一般質問・政策提言 】

令和 7 年 8 月 21 日（木） 第 2 回少年議会

施政方針



少年町長 佐藤 楓

「遊（勇）往邁進 ～見せつけよう！遊佐^{オレら}者の覚悟をッ!!～」

第 2 回少年議会を開催するにあたり、施政方針を申し上げます。

第 1 回少年議会以降、全員協議会を開催し、「遊佐町少年議会アンケート」として行った若者の意見調査の集約結果などをもとに、今期の活動目標・活動内容を協議してきました。

その結果を踏まえ、第 2 3 期少年議会では、「遊（勇）往邁進 ～見せつけよう！遊佐者の覚悟をッ!!～」をコンセプトとして、活動していきます。勇往邁進という四字熟語は、目標に向かって、脇目も振らず勇ましく前進することを意味します。本来、「ゆうおうまいしん」の「ゆう」は勇ましいという漢字ですが、私たち第 2 3 期少年議会は、遊び心を忘れず楽しく前進していこうという意味を込めて遊ぶという漢字にしています。

また、集約した有権者アンケートの結果はお手元の資料の通りとなります。

遊佐町にどんな町になってほしいか？という質問に対して、「賑やかな町、活気のある町」や「自然豊かな町」という意見が多くありました。遊佐町は若者の想いや声を取り入れたまちづくりをしていると思いますかという質問では、「とても思う」、「思う」と回答した人が全体の約 70% いました。また、遊佐町少年議会の今までの活動内容を知っていると答えた人は、全体の 25% しかいませんでした。これはまだまだ少年議会の周知が足りていないということが分かる結果でした。

少年議会では、自分たちの暮らす遊佐町を、町民や私たち若者が暮らしやすい町にする為、遊佐町の若者代表として活動し、少しでも若者の目指す遊佐町に近づくため、少年議会らしい「まちづくり」を行っていきます。

歴代の少年町長・少年議員の活動を振り返り、意思を引き継ぎながら、新しい活動も検討していきます。少年議会の活動は、町民の皆さんと有権者の中高生のご理解やご協力がなくては進めることはできません。皆さんとともに前進していきたいと思っております。

以上を、今年度少年議会の施政方針とします。

一般質問① フリーWi-Fi が使用可能な学習スペースの 設置について

少年町長 佐藤 楓（酒田南高等学校 3 年）

私は酒田南高校 3 年の佐藤楓です。私は今回、町立図書館の学習コーナーでもフリーWiFi を使えるようにすることを要望します。理由としては、少年議会で行ったアンケートにも学習コーナーでフリーWiFi を使えるようにしてほしいと書いてあったり、私の高校生の知人から学習コーナーで集中してパソコンによる作業ができないことが残念であると言われたりしたからです。

最近では中高生がパソコンで課題をしたり、何かの資料を作ったりすることが増えたため、パソコンを集中して使えるような環境が必要であると私は考えています。現状として、学校から支給されているパソコンはWiFi がないところでは使えないこと、図書館のフリーWiFi が使える場所は会話をしても良い場所のためおしゃべりをする人が多く集中できないことなどが挙げられ、町立図書館は一人で集中してパソコン作業を行うには適していない環境であるといえます。先程挙げた私の知人はこのことが原因で町立図書館ではなく、酒田市のミライニへわざわざ足を運んでいるとも言っていました。

このことを踏まえ、私は町立図書館の学習コーナーでもフリーWiFi が使えるようになることを町に要望させていただきます。



少年監査 松本 杏彩（遊佐高等学校 2 年）

こんばんは、遊佐高校 2 年の松本杏彩です。今回の一般質問では、町立図書館の Wi-Fi 環境と作業スペースの改善について提案します。

現在、図書館のフリーWi-Fi は使える場所が限られ、中高生が集中して勉強や作業をするには不十分な環境です。さらに、Wi-Fi の存在自体を知らない人も多く、十分に活用されていません。私自身も図書館で課題に取り組む際に周囲の視線が気になり、集中しづらい経験があります。今の学校の課題はパソコンやタブレットを使うことが多く、安定した Wi-Fi 環境が不可欠です。より快適な Wi-Fi 環境や個人スペースがあれば、中高生が町の図書館を利用しやすくなり、隣の市に行く必要も減ります。利用者が増えれば図書館の活性化につながり、町全体にも良い影響が期待されます。

このような理由から、Wi-Fi と作業環境の改善を町に強く要望します。



少年事務局次長 前田 彩花（遊佐高等学校 1 年）

私は遊佐高校 1 年の前田彩花です。私からは、町立図書館の設備の拡充を要望します。先日、遊佐町の図書館の中にある学習スペースで勉強した際、自由に使える WiFi がありましたが、実際繋げてみたところ電波が弱く、途中で途切れてしまったり、ページが読み込まれないことがありました。調べ物をする際に時間がかかり、集中しづらいこともありました。現在の学び合いスペースでは、人の話し声が聞こえたり、イベントで使えない日もあり、落ち着いて勉強できないと感じました。

もし安定して使えるフリーWiFiがあれば、調べ物がスムーズに進み、効率よく時間を使えると思います。また周りが静かで集中できる環境のある学習スペースと合わせて整えれば、学生はもちろん社会人や観光客、移住を考えている方まで年齢関係なく幅広く利用しやすくなると思います。

誰もが安心して快適に利用できる学習環境を整えることは、町の教育環境の向上や魅力、便利さを高めることに加え、たくさんの人が来ることで町の活性化にもつながると思います。

一般質問答弁要旨

質 問 者	佐藤楓 松本杏彩 前田彩花
質問要旨	① フリーWi-Fi が使用可能な学習スペースの設置について（回答：教育課）
学習コーナーへのフリーWi-Fi設置に関するご提案ありがとうございます。 遊佐町立図書館は、建築当初、館内でゆっくり読書できる環境づくりに配慮し、読書スペースへの机・イスの設備については、他の図書館と比較して多く設置しております。その後、時代のニーズに合わせ、館内でフリーWi-Fiが使用できるよう改善し、現在は学び合いスペース（旧視聴覚室）のみ利用可能となっております。一方学習コーナーについては、パソコンのキーボード操作音や話し合いの声を気にせず、学習や読書に集中できるスペースを確保するために、敢えて学び合いスペースと学習コーナーの使用方法を区別した経緯がありました。 しかし、提案のように子どもたちのニーズが変化するなか、図書館としても時代に沿って運用を変えていく必要性を感じており、学習コーナーのあり方については今後図書館協議会など利用者の皆さまより意見を頂戴しながら検討して参ります。 若い世代からは提案のような要望がある一方、長年図書館をご愛用頂いているシニア世代の皆さまからは、こうした遊佐町立図書館の伝統的なあり方をご支持いただく声も複数寄せられており、多角的な視点から判断すべきと考えています。 子どもたちの利用が集中する、学校の長期休暇中の期間限定での学習コーナーでのフリーWi-Fi使用を許可する等の譲歩案も視野に入れて検討して参ります。	

一般質問② 部活動のクラブ化による金銭的な負担増を 軽減するための助成金の創設について



少年議員 阿部 颯空（遊佐中学校 3 年）

私は遊佐中学校 3 年の阿部颯空です。部活動のクラブ化に伴い要望したいことがあります。今年から中学校では部活動のクラブ化が行われ、平日は部活動、休日はクラブへと変化しました。その結果、学校の業務負担が軽減され、私たち生徒もさらに多様な活動に取り組めるようになりました。しかし、活動場所への送迎や、外部の指導者や設備を使うことで費用が発生するなど、保護者への負担が増えていることも事実です。この状態のままでは、部活動を有料化したのと同じではないでしょうか。家庭の経済状況によってクラブに参加できない方も少なからずいると思います。私はクラブに入りたいのに入れない人がいるのは問題だと感じています。

そこで、クラブ活動への助成金の交付を要望します。クラブに助成金が交付されることによって、少しでも保護者の負担が緩和されるのではないのでしょうか。ぜひ、ご検討お願いします。



少年議員 國分 いつみ（遊佐中学校 3 年）

私は遊佐中学校 3 年の國分いつみです。私から提案するのは部活動のクラブ化に対する助成金の創設についてです。

中学校では今年から部活動が地域クラブへと移行しました。これにより今まで部活動として家庭が払っていた部費がクラブへと払うクラブ費となり、保護者への負担がかなり高くなりました。この費用が理由で「続けることができない」、「入りたいけど高すぎると」と感じる人がかなり多いようで、自分もその内の一人です。

そこでクラブへかかる費用の補助金を町から出していただくという提案をします。この補助金を出していただけることで負担が軽くなり、クラブ活動を続ける、入りたいという人が増えてくれると思います。まさにこれが遊佐町が掲げるスローガン、「早起き・朝ごはん・躍動・早寝」の躍動につながるのではないのでしょうか。

躍動する遊佐っ子のため、ご検討よろしくお願いします。



少年議員 齋藤 由芙里（遊佐中学校 3 年）

私は遊佐中学校 3 年の齋藤由芙里です。私からはクラブ化に対する町からの助成金を要望します。

私は中学一年生から遊佐中の陸上部に所属し、2 年生の途中辺りからクラブに所属し始めました。当時は陸上部の練習とクラブの練習を両立させていましたが、クラブ化が大幅に進むにつれ、遊佐中の陸上部はクラブの所属が必須となり、所属していない生徒は陸上をする事が出来ないというのが現状であります。

クラブ化改革に対しては良い取り組みだと思う反面、生徒の家庭のことを考えると負担する金額が増えてしまっているため、中にはやりたい事が出来ない生徒もいるようです。そのため町からの援助があれば親の負担が減ると共に私たちが出来る事が広がると考えます。ぜひ町から援助をお願いします。

大変難しいことだとは思いますが、どうぞ宜しくお願いします。



少年議員 畠中 彪良（遊佐中学校 3 年）

私は少年議員の畠中彪良です。今回私が要望するのは、休日部活動のクラブ化に対する支援です。

遊佐中学校では今年度から、教員の働き方改革などを目的として、休日の部活動が有料の地域クラブに移行しました。このクラブ化に伴う費用ですが、私の所属する吹奏楽クラブは毎月 3,000 円、入部してから引退するまで所属すると 78,000 円にもなります。また、スポーツ系のクラブに所属する友人には、月謝がもっと高いという人もいました。

しかも、吹奏楽部は他校との合同チームで各大会に出場している都合上、合奏を出来るのが休日しかないため、クラブ自体は任意加入でも、現状入らざるを得ません。

これからは他の部でも、他校と合同で練習する事が多くなると思います。ご検討よろしくをお願いします。

一般質問答弁要旨

質 問 者	阿部颯空 國分いつみ 齋藤由芙里 畠中彪良
質問要旨	②部活動のクラブ化による金銭的な負担増を軽減するための助成金の創設について（回答：教育課）
国では「将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保」や「教員の働き方改革」のため、休日の部活動については段階的に学校から地域に移すこととしており、遊佐町では令和7年度から休日に活動を希望する部活動は地域のクラブで行うこととし、地域のスポーツ関係者と中学校と町が協力して進めてまいりました。現在、町では持続可能な部活動の地域展開に向けて、大きく分けて3つのことに取り組んでいます。 1つ目は、部活動改革のためのコーディネーターを配置し、部活動とクラブ活動の調整を行っています。 2つ目は、段階的な地域移行のために、町独自の方法で部活動指導員体制を継続しております。中体連の大会に対応する部活動指導員を配置し、地区総体や新人戦等の大会に引率し指導にあたっています。 3つ目は、今年度より部活動地域移行受け入れ先クラブ支援事業を設けました。この制度により部活動の受け皿となっている各クラブに対して、基準額として月に5千円（年間6万円）を交付しています。また、加算額としてクラブで受け入れている遊佐中生1人につき、月に千円（年間1万2千円）を交付し、部活動地域展開による保護者とクラブの負担軽減を図る取り組みを既に行っております。 今年度からのクラブ支援事業において、実際にこのような実態があります。 ○クラブ参加費を安くできているクラブがある。 ○専門性のある高い水準で、指導の質を維持することができている。 ○よい環境の下で活動することができている。 ○中体連登録料や大会への登録料などをその都度徴収せずに、交付金から支払っているクラブもある。 △部活動の部費とクラブ活動のクラブ費を比較すると、数千円高くなっているところもある。 なお、土曜日や長期休暇中の部活便のスクールバスは、休日がクラブ活動となった現在も継続して運行しております。 持続可能な部活動の地域展開を行うためには、学校・町・クラブだけが費用や労力を負担するのではなく、受益者である参加者やその保護者が一定の費用を会費として負担するのは重要なことであり、ご理解をいただきたいと思っております。しかしながら、極端な負担増により経済的に余裕のない家庭は参加できないといったことがないように、状況の把握に務めながら、今後も受け入れ先のクラブの支援し保護者の負担軽減を図っていきたいと考えております。	

一般質問③ スクールバスの停車位置の見直しについて



少年副議長 松本 直也（遊佐高等学校 3 年）

みなさんこんばんは。遊佐高校 3 年生の松本直也です。私の一般質問はスクールバスの停車位置の見直しについてです。これは去年も提案しましたが通らなかったもので、今年はリベンジをしに来ました。

単刀直入にいきますと、蕨岡線のスクールバスの停車位置を見直して欲しいのです。

蕨岡線は冬季だけ八日町というバス停を通ります。このバス停は遊佐高校に近く、冬季の通学では非常にありがたいと思っていました。ここで私は、冬季以外でも八日町を通って下さったら、この夏の猛暑の下でも安心して登校できるだろうと思っています。このスクールバスを利用して登校している私と妹は、普段は学習センター前というバス停から歩いています。そこから徒歩で歩くと約 15 分。その道中は日陰になるものがほとんどなく、約 15 分日に当たりながら登校しています。しかし、八日町からだ約 5 分で学校に着きます。みなさん、想像してみてください。朝といえどもとても暑いですね。そんななか炎天下で太陽に炙られながら登校する様子を。5 分と 15 分とでは格段に違います。学校に歩いて行く途中でフラットすることたまにありました。そして学校に着いたら汗がぐっしょり。もちろん各自で日傘をさしたり、日焼け止めを塗ったりなどの対策はしていますが限界があります。バスの運転手さんとも「夏も八日町に停まったらいいのにね」と話したことがあります。それに最近の日本の夏は人を殺しに来ている程に危険になっています。命に関わるかもしれないので、是非ご検討の方をよろしくお願いします。

この路線を見直して欲しいという意見ですが、私も懸念点があったりします。まず、スクールバスは小学校、中学校の授業をもとに、出発時刻や到着時間を決めています。いざ変えとなると小学校、中学生の時間割にも影響が出るかもしれません。そこは無理には言いませんが、このようなことで困っている人もいないかもしれないという事は頭の隅に置いて欲しいと思います。夏の暑さで私も熱く語ってしまいましたが、私からの要望は以上になります。



少年議員 松本 琉奈（遊佐高等学校 1 年）

みなさんこんばんは。遊佐高校一年の松本琉奈です。私からの一般質問はスクールバスの停車位置の見直しについてです。この質問を選んだ理由は、私自身近年の異常な暑さの中、

徒歩で通学することはあまりに過酷であると感じているためです。

私は小学1年生から毎日バスに乗って通学してきたため、日々の運動が不足している状態でした。そのため、バスの降りる場所が変わってからも、運動不足を解消するためと思いながら毎朝大量の汗をかきながら登校しました。私の汗のことは問題ではなかったのですが、一緒に歩いていた兄の顔を見るとすごく具合が悪そうな時がありました。私も頭が痛くなったり、フラついたりなどし、あの暑さと日差しにはとても耐えられません。

私や兄を含むバスの利用者の身体的な負担を少しでも軽減していただけるよう、蕨岡線のバスが冬季だけ八日町に通るのではなく、夏季にも通過していただけると大変ありがたいです。もちろん、路線を変更することが簡単だと思っていません。路線を変更することで、一緒に乗っている小中学生にも迷惑がかかるし、もしかしたら他の路線も変更になったりなど大きな問題に繋がることは重々承知の上です。

ですが、今年の夏は異常な暑さで、もしかしたらこれからもどんどん気温が上がっていき、命に関わるほどになるかもしれません。なので、是非ともご検討頂けますと幸いです。長々すみませんでした。私からの要望は以上となります。

一般質問答弁要旨

質 問 者	松本直也、松本琉奈
質問要旨	③スクールバスの停車位置の見直しについて（回答：教育課）
本件は昨年を引き続いてのご要望ということで、昨今の異常な暑さから停車位置見直しの必要性を再認識してのこととご理解いたします。昨年と同じ内容ということで前回の回答と重なる部分がありますことをご了承ください。 遊佐高校から最も近いバス停は八日町バス停ですが、このバス停を通過するのは蕨岡線のみであり、冬期間のみの運行となっております。八日町バス停を通年で、かつ他の路線でも停車するように変更する場合、主に2つの問題を検討する必要があります。 運行ルートを変更するにあたり、蕨岡線以外の路線については現在よりも運行時間が長くなります。小中学校の授業開始時間に間に合うように時刻表を作成しているため、新たにバス停を追加することになると、始発の時間を早くする必要があり、バス通学をしている小中学生とそのご家庭に対して、大きな負担となることが予想されます。 また、八日町バス停を設置している道路は、道路幅が狭く、多くの大型車両が往来することになると、近隣住民の方へ騒音や揺れなどのご迷惑をおかけすることになります。現在は冬期間のみ1台の通過ですが、これが他の路線も停車する場合、通年で10台のバスが通過することになりますので、近隣住民の方への影響も大きくなると考えられます。 スクールバスについては、ご承知のとおり小中学生の通学のために運行しているものでありますので、小中学生の負担軽減と安全性を第一に考慮して時刻表を作成しております。バス停においても、近隣住民の方々からの理解と協力を得て設置していることから、小中学生や住民の方々に対して、大きな負担となってしまうような変更は現状では困難と考えております。 ご提案いただいた町内の遊佐高校在学学生のための通学手段の確保という点につきましてはこれまでの通学タクシー・通学定期購入助成といった通学支援事業とあわせて遊佐高校の魅力化のひとつとしては有益なものであると考えます。今後見込まれる児童生徒	

の減少に伴いスクールバス路線の見直しも必要と考えてはおりますが、スクールバスへの乗車に限らず、町の公共交通機関の整備といった観点でも議論を進めていきたいと考えております。

一般質問④ 街灯の設置について



少年議員 森岡 皇士郎（遊佐高等学校 2 年）

みなさんこんばんは、少年議員の遊佐高校 2 年森岡皇士郎です。私は八ツ面川沿いの街灯の設置について要望します。なぜ八ツ面川の街灯設置について要望したのかと言うと最近私の友達から「夜間の暗がり不安」「通勤通学路が暗くて危険」「友達が用水路に落ちた」などの声が寄せられているからです。街灯を設置するメリットは 4 つあります。

1 つ目は犯罪抑止効果です。適切な照明は犯罪抑止につながり、町民の安全を守ります。2 つ目は交通事故防止です。街灯を設置すれば用水路に落ちる事もなく歩行者の事故が防止されます。3 つ目は地域経済活性化です。街灯を設置することで夜間の買い物や飲食店の利用が促進される可能性があります。4 つ目は遊佐町の好感度 UP です。町全体に適切に街灯を設置することで移住する人や観光客から町の安全性を認知してもらえる可能性があります。

以上 4 つのことから八ツ面川沿いの街灯設置について要望します。



少年監査 村上 つかさ（遊佐高等学校 2 年）

こんばんは。遊佐高校 2 年の村上つかさです。私は今回八ツ面川沿いや倉の町周辺の街灯の設置について要望したいと思います。私が街灯の設置を要望する理由としては 2 つあります。

1 つ目は夜間の移動での事故や怪我の防止対策です。実際私の身近な人の中にも暗さで足元が見えず転んでしまった人や用水路に落ちてしまったなど怪我や事故を経験した人が多数いました。このような怪我や事故の危険を減らすためにも街灯の設置が必要だと考えました。

2つ目は夜間中の防犯対策です。暗くて見通しが悪いため周りの状況がよくわからず不安になる方も多いです。視界が悪い場所は犯罪をしやすい状況を作ってしまうため、町民の安全を守るためにも街灯の設置は不可欠だと考えられます。

町民の身体を守るため不安を減らすためにも八ツ面川沿い、倉の町周辺の街灯の設置について要望したいと思います。



少年事務局次長 齋藤 玲華（遊佐高等学校 1 年）

私は遊佐高校一年の齋藤玲華です。私は今回遊佐町の街灯について要望させていただきます。

現在、八ツ面川沿いの道路は特に夜間、街灯が不足しており、非常に暗くなってしまいます。そのため、通行する際に足元が見えにくくなり、歩行者や自転車利用者にとって危険な状況です。また、川沿いの道は交通量も比較的少なく、人通りが少ないため、暗くて視界が悪く、犯罪の発生リスクも懸念されています。

具体的には、八ツ面川沿いのあたりが特に暗く、歩行者や自転車が通行するには非常に不安を感じる場所となっています。特に夕方から夜にかけては、街灯の不足による視界不良が原因で事故が起こる可能性が高くなります。また、夜間に通る人々が少ないことから、万が一の犯罪に巻き込まれる危険性も高まっています。

そのため、この区間に適切な間隔で街灯を設置していただければ、通行する皆さんにとって大きな安心感を提供できると考えます。地域の安全性向上のため、ぜひご検討お願いします。

一般質問答弁要旨

質 問 者	森岡皇士郎、村上つかさ、齋藤玲華
質問要旨	④街灯の設置について（回答：総務課）
防犯灯については、生活道路を照らし、歩行者の安全を確保するとともに、夜間の犯罪被害を防止することを目的として、町内に 2,273 灯の防犯灯を設置しております。防犯灯の設置及び管理については、集落内に設置しているものと、集落間・通学路等に設置しているもので異なります。集落内に設置している 1,862 灯については、集落が維持管理を行い、集落間・通学路等に設置している 411 灯については、町で維持管理を行っております。 防犯灯の設置については、防犯灯設置基準に基づき設置をしております。この基準では、「防犯灯の要望取りまとめについては、防犯連絡員である自治会の区長がとりまとめ、町防犯協会に諮ること」となっており、それ以外のものについては原則受け付けないことと規定しております。	

よって、今回の防犯灯のご要望については、町で地元の自治会と協議し、町防犯協会に諮りたいと考えております。

なお、八面川沿いの街路灯については、平成 24 年度太陽光発電街路灯設置事業として、13 か所の事業費 10,065,300 円で設置をしております。これらの街路灯については、太陽光パネルで発電し、バッテリーに蓄電することで、外部からの電源供給を必要としない方式を採用しておりますが、機器の故障により一部電灯がつかない状態となっております。

現在修繕の見積もりを取っておりますが、1 基あたり 100 万円以上の費用がかかるため、修理の方法を含め今後の方向性を検討しているところであります。

少年議会独自政策① 遊佐の自然を体験できるイベントの開催



少年監査 佐藤 和香（遊佐高等学校 3 年）

皆さんこんばんは、遊佐高校 3 年佐藤和香です。私は町の安全と交流を深めるために「宿泊型防災キャンプ」と「地引網体験」の実施を提案します。

近年、地震や台風などの自然災害が増え、防災知識や避難経験の不足が課題となっています。そこで、防災キャンプでは廃校を使って 1 泊し、テントの設営、ダンボールベッドの設営、非常用トイレの使い方などを学べるようにと考えています。

また、地引網体験では地域の漁師さんと一緒に漁を行い、捕れた魚を調理して交流したいと考えています。これにより、災害時に助け合える絆がさらに強くなり、地元の自然や伝統への理解も深まると思います。

以上のことからこの 2 つのイベントを提案します。ご清聴ありがとうございました。



少年議長 安岡 心結（遊佐高等学校 3 年）

皆さん、こんばんは。遊佐高校 3 年の安岡心結です。私は、遊佐の自然を体験できるイベントとして「宿泊型防災キャンプ」の開催を提案させていただきます。

昨年の夏、遊佐町は豪雨災害に襲われ、大きな被害が出ました。私自身、これまであんな規模の水害を経験したことがなく、正直とても驚きました。その中で、「自分に何かできることはないか」と考え、遊佐町の「おでこ米え〜す」を拠点に、水害ボランティアに参加しました。活動では、浸水した家屋の荷物の運び出しや、泥が流れ込んだ床の清掃、ゴミの運搬などを行いました。初めての経験でしたが、実際に被災された方々のお手伝いをする中で、学校の授業で聞いた「互助」や「共助」という言葉の意味を、肌で感じるができたと思っています。この経験を通して、災害に備えることの大切さを強く感じました。

そこで今年は、防災意識を高めるとともに、災害時に自分たちがどう動けるかを学ぶ場として、「宿泊型防災キャンプ」を開催したいと考えています。このキャンプでは、廃校を活用し、地域資源を有効に使いながら、以下のような体験型のプログラムを行いたいと考えています。例えば、避難所運営ゲームを使った防災ワークショップ「今私たちにできること」をテーマにしたグループワーク、段ボールベッドの作成体験や非常食の調理体験 などです。これらの活動を通して、実際に災害が起きたときにどう行動すればいいのか、また、被災地の支援にどう関われるのかを、実践的に学べる場にしたいと思っています。子どもたちや私たち若い世代が中心となって、「もしもの備え」を遊佐町で行う、そんな活動になるのではないのでしょうか。

以上の理由から、私は「宿泊型防災キャンプ」の開催を提案します。ご清聴、ありがとうございました。



少年監査 永原 たびと（遊佐高等学校 3 年）

私は、遊佐町の自然の魅力を楽しみながら知る機会を提供したいと思い、遊佐地引網漁体験を企画します。このイベントでは主に遊佐町や酒田市に住む小・中・高校生を対象に、遊佐町の自然や文化・産業に触れることができる貴重な体験の場となること間違いなしです。

地引網漁は、かつて遊佐町で行われていた漁法の一つですが、現在ではその不便さや担い手不足から、徐々に姿を消しつつあります。私は、このような面白く魅力的な文化が、若者に知られることなく失われていくのは非常にもったいないと感じています。また、地引網漁を体験し、実際に生き物に触れたり、自分の手で網を手繰り寄せる経験は、心や身体、五感で体感できます。自然との関わりが少なくなっている現代の子どもたちにこそ、こうした体験を通して自然の恵みや地域の文化を身近に感じてほしいと考えています。

このような現状を受け、地引網漁を通して、若い世代に地元の文化や産業の面白さを体感してもらうことで、遊佐町の魅力を再発見し、地域に目を向けるきっかけになればと考えています。



少年議員 菅原 湊（遊佐中学校 3 年）

こんばんは。私は遊佐中学校 3 年の菅原湊です。私たち少年議会では、遊佐町をより良く、暮らしやすい町にするための政策として自然体験型イベントの開催を考えています。

具体的な内容については今後の少年議会において決めていきますが、現時点では11月頃に防災キャンプとして、火起こしや防災マップづくりなどの活動をしようと思います。

この政策を開催したい理由は主に2つあります。

1つ目は町内の人たちの交流を深めるためです。同年代ではなく、世代を超えた交流を深めることで、町がとても明るくなることや、地域での助け合いが活発になると思います。

2つ目は災害が起きた時の連携をとるためです。何の対策もせずに災害が起きてしまうと、つい焦ってしまい、被害が拡大してしまう恐れがあります。ですが、色々な対策を行なっていれば、落ち着いて行動できたり、地域の人たちと連携を取り、被害を減らすことができると思います。

これらの理由から、政策として防災キャンプを行うことを提案します。



少年事務局次長 高坂 叶夢（遊佐中学校3年）

こんばんは。私は遊佐中学校3年高坂叶夢です。今期の少年議会では自然体験型のイベントの開催を考えています。体験型イベントでは、防災キャンプを行いたいと思っています。防災キャンプの具体的な内容としては、11月頃に開催し、ハザードマップの作成や、火起こしなどを行いたいと思っています。細かい内容の方は今後の少年議会で決めたいと思います。

私が体験型イベントを開催しようと思った理由は2つあります。

1つ目は、災害への警戒心が薄れていると思ったからです。今の時代、昨年7月に遊佐町を襲った大雨での水害や東日本大震災などの災害がいつ起こるか分からない状況です。防災キャンプを通して、避難場所の確認や避難時の行動の確認等ができれば、避難時に焦らず安全に避難できるのではないかと思います。

2つ目は、体験型イベントに参加して、町民と交流する機会を作り防災の意識を作りたいと思ったからです。同世代だけでの交流だけではなく、世代が違う人同士が交流したという経験があれば、実際に避難生活になった時に避難者同士が助け合うことができるのではないかと思います。

これらの理由から、今期の政策として防災キャンプを行う事を提案します。



少年事務局次長 土門 慎音（遊佐中学校 1 年）

僕は遊佐中学校 1 年の土門慎音です。僕は今年の少年議会の政策として、遊佐町の自然を活かした体験型イベントの開催を提案します。それは日本海と砂浜を利用して行う地引網体験です。

具体的な内容として、子どもや地域の人たち、そして少年議員が一緒になって地引網を引いていきます。そして、獲れた新鮮な魚を自分たちで調理して食べる、そして、遊佐町で獲れる魚や、漁の現状についてなどを学ぶ、というようなことを考えています。

このイベントの目的は 2 つあります。1 つ目は、遊佐の産業の 1 つである漁業について知ることです。漁師も高齢化で少なくなり、この先遊佐の漁業はどうなっていくのか、温暖化が魚にどのような影響を与えるのかなどを知ってほしいと思います。2 つ目は、地域と世代を超えた人たちと一緒に体験するという事です。僕のように地引網を見たことも引っ張ったこともない世代が多いと思いますので、楽しい体験ができると考えています。

少年議会のメンバーだけでできることは少ないかもしれませんが、地域の人たちを巻き込んで何かを形にする、ということは不可能ではないと思います。

この地引網体験を実現するためには、地域の人たちをはじめ、少年議員の仲間との協力が必要です。実現するためにはいろいろと難しいこともあるかもしれませんが、1 つずつクリアして遊佐町を盛り上げる事業の 1 つにしたいと思っています。

僕からの提案は以上となります。

少年議会独自政策② 遊佐町の知名度を上げる活動の実施



少年事務局長 石田 美月（遊佐高等学校 3 年）

私は、遊佐高校 3 年の石田美月です。私は、遊佐町の知名度を高める活動として、町のキャラクターである米～ちゃんに流行りのダンスを踊ってもらい、その動画を SNS で発信することを提案します。振り付けには遊佐町の魅力である湧水をすくう動作や日本海の波を表すポーズ、また特産品である米や鮭をイメージした動きを加えることで遊佐の魅力をより伝えることができると思います。撮影は町内の名所を背景に行い、鳥海山や釜磯、丸池様などを

巡りながら動画を制作します。投稿には「#遊佐町ダンスチャレンジ」などのハッシュタグを付け、町民や観光客の参加も促します。

この取り組みにより、遊佐町の魅力を楽しく発信し、知名度も高まると思います。



少年監査 金澤 鳴（遊佐高等学校 1 年）

遊佐高校 1 年生の金澤鳴です。今年の少年議会では遊佐町の良さや魅力を町内外に伝えられるような活動をしたいと考えています。

まず 1 つ目は米～ちゃんを強化していくことです。具体的には米～ちゃんに声などを付け、キャラとして活動をしやすいようにすること、グッズの作成などです。

2 つ目は SNS の有効活用です。SNS を使い、少年議会の活動内容、遊佐町の魅力的なところなどを発信し、少しでも遊佐の魅力が色んな人に伝わるようにしたいと思います。また、その活動の中で米～ちゃんを使い、米～ちゃんの強化も同時にしていけたらいいなと思っています。

まだ曖昧ではありますが少年議会の人達と協力し、1 年間遊佐町を住みやすい町に出来るよう、精一杯活動しようと思います。

私からの提案は以上となります。ご清聴ありがとうございました。



少年議員 池田 栞菜（遊佐中学校 2 年）

遊佐中学校 2 年生の池田栞菜と申します。宜しくお願い致します。私が今期の政策で提案したいと思っているのは町の知名度アップに繋がるような活動です。

まず 1 つ目は SNS の有効活用です。SNS を通して遊佐町、少年議会の 2 つをまとめて PR したいと思っています。SNS を通じて遊佐町、少年議会の魅力を知ってくださる人が一人でも増えたらいいなと感じております。

2 つ目は米～ちゃんグレードアップです。具体的には米～ちゃんのグッズ作成、米～ちゃんの声優募集をしたり米～ちゃんのキャラを安定させることです。まだまだ曖昧ではありますが少年議会の先輩方が作ったものを無駄にせず遊佐町のために役立てたいと思っています。よろしくお願いいたします。

ゆざまち 防災キャンプ

となえあればうれしいな♪

11/23 日 9:00～12:30

遊佐町生涯学習センター

集合：2F大会議室

小中学生対象/定員20名

参加
無料

内容

防災について
考えてみよう

1. 講話・ワークショップ
2. 段ボールベッド・テントの設営
3. 防災クイズ
4. 防災食をつくって食べてみよう

イチオシ

防災食をつくって
たべてみよう

当日のメニュー

- ・a化米オムライス
- ・じゃがりこポテトサラダ
- ・フルーツポンチ



お問い合わせ先

TEL：0234-72-2236

MAIL：youthgikai@town.lg.jp

主催：第23期遊佐町少年議会

※当日の飛び入り参加はご遠慮願います。

キリトリ

下記の内容に記入して生涯学習センター1F事務室、または学校の担当の先生まで！

氏 名 :

参加人数 :

所 属 :

遊佐小学校 ・ 遊佐中学校

1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 (年生)

アレルギー :

緊急連絡先 :

11/14日×切

米～ちゃんも
待ってるよ！



政策① ゆざまち防災キャンプ（11月23日）



開会式の様子



山形遊佐洋上風力合同会社による防災講座と防災カルタの様子



段ボールベッドとテントの設営指導の様子



少年議会による防災クイズの様子

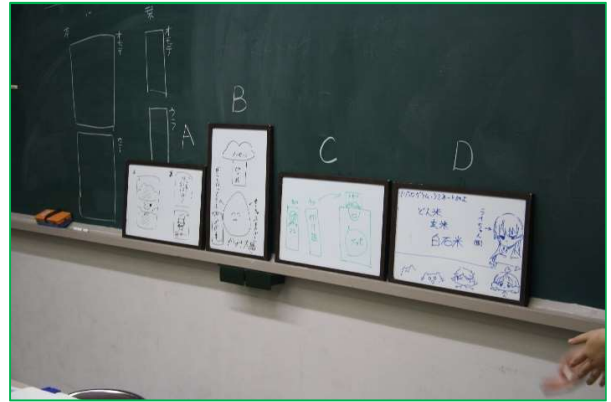


防災食アレンジメニューを調理・実食する様子



集合写真

政策② 遊佐町 PR のための葉の製作



全員協議会で葉のデザインについて協議する様子



葉を作成する様子





製作した葉を各施設へ寄贈する様子



完成した8種類のオリジナルの葉

町議員との意見交換会の様子



町内イベントへの参加



選挙啓発音源録音（25年6月27日、26年1月20日）



杉沢比山の解説（25年8月6日）



奥の細道鳥海ツーデーマーチ（25年9月6日、7日）



鹿の角切り（25年10月11日）

少年議会

政策 提言



【第23期活動報告・最終提言・次期少年議会に望むこと】

令和7年12月19日（金） 第3回少年議会

全体総括

少年町長 佐藤 楓

私たち第23期少年議会の活動は、6月23日の第1回少年議会から始まりました。今期の少年議会活動を行うにあたり、有権者の意見をアンケートという形で調査しました。結果、遊佐町は若者の思いや声を取り入れたまちづくりをしていると答えた人が全体の約70%いましたが、少年議会の今までの活動を知っている人は全体の25%に留まりました。これは少年議会という存在は認知されているものの、活動の内容までは周知されていないということが分かる結果でした。

さて、第23期少年議会では、「遊（勇）往邁進 ～見せつけよう！遊佐者の覚悟をッ!!～」を施政方針とし、約半年間の活動の中で2つの政策を実現しました。

1つ目の施策は、11月23日に行われた「ゆざまち防災キャンプ」です。この政策は昨年遊佐町を襲った大雨災害の経験から、小さい子達にも正しい防災知識を身につけてほしいという思いから計画したものです。イベントの内容は、防災に関するワークショップやクイズに加え、防災食のアレンジメニューの調理・実食となっており、小さい子達にも楽しくご参加いただくことができました。2つ目の施策は「遊佐町をPRする葉」の作成です。手元に残る形で遊佐町の魅力をPRするために葉という形を選びました。葉のデザインには少年議会メンバーが持ち寄った選りすぐりの画像が使われており、遊佐町が誇る風景や、遊佐に暮らす中高生の日常を表現したものとなっています。完成した葉は、今後遊佐町内の各施設や縁のある自治体にも配置させていただく予定です。

遊佐町少年議会は地域の方々、学校、保護者のみなさまからのご理解、ご協力に支えられ今年も多くの政策を実現してきました。学校と少年議会活動との両立が難しいながらも、多くのメンバーが活動に参加・出席してくれました。これからも若者の意見や気持ちを大切に少年議会を続けていってほしいと思っています。

以上、第23期少年議会の活動の総括とさせていただきます。

少年町長 佐藤 楓

今期少年町長を務めさせていただいた、酒田南高等学校3年の佐藤楓です。

私はこれまでに5回少年議会に参加し、内3回は少年町長として活動してきました。少年議会の活動は私の中でとても大きな存在で、今の私は少年議会に参加してきたから存在できていると言っても過言ではありません。ですが私は、少年議会の「活動の継続」について改善点があると感じました。

少年議会の活動がより良いものになるために、より多くの人に知ってもらうためには「継続」は必要不可欠だと、私は感じています。毎年少年議会のメンバーが変わり、継続して何かを行うことは難しいことだとは思いますが、継続することで反省や振り返りから、新たな気付きや学びを得ることができるのではないのでしょうか。

そこで、私はこれからの少年議会では「引き継ぎ」にも注力してほしいと思っています。特定の活動の引き継ぎというよりは、何を少年議会は目指しているのか、目標の引き継ぎを行ってほしいのです。毎年行う活動は異なってもいいと思いますが、やはり何を目標としているのかが毎年異なっていては、いつまで経ってもその目標が達成されることはありません。私が少年町長として活動している間に、「引き継ぎ」を確立させることができなかったことは申し訳なく思っており、唯一の心残りでもあります。なので、これからも少年議会メンバーとして活動したい、参加したいという人に託したいと思います。押し付けがましいですが、これを改善することで、少年議会が前進できることは断言できますので、よろしくお願いいたします。

ご清聴いただき、ありがとうございました。私は少年議会で、多くの人や考え方と出会い、共に活動し、成長してきました。なので、中高生の成長の場として、また遊佐町を発展させる場として、より良い場となるよう、もう一段踏み込んでほしいと願っています。本当に少年議会に参加して良かったです。改めて、1年間、そして5年間、ありがとうございました。

少年議長 安岡 心結

今年度、少年議長を務めさせていただきました、遊佐高校3年生の安岡心結です。

私は少年議会を通して、多くの学びを得ました。その中でも特に大切だと感じたのは、活動に対して「共通の目的」を持つことの重要性です。企画運営にあたって、私たちは「何のためにこの活動をするのか」「何を伝えたいのか」を常に見直すことが欠かせません。

議会の中では、思うように進まず、つまづくこともありました。今年の政策である防災キャンプの防災食作りでは、「こんなに豪華な献立にしても良いのだろうか？」という疑問が生まれました。災害時に、この食事ができる保証はありません。しかし、今回のキャンプの一番の目的は「防災食を楽しく経験してもらうこと」でした。その目的を改めて確認できたことで、イベント全体に一体感が生まれたと感じています。

来年度の少年議会が、さらに素晴らしい政策を実行できることを心から願っています。今年は「難しそうだから」「大変そうだから」という理由で、政策の幅を狭めてしまった場面もあったように思います。しかし、私はそのような選択をしてほしくありません。やってみる前から決めつけて諦めるのではなく、「少年議会」という立場を最大限に活用し、どうせやるなら最高の政策を実現してほしいと思います。

私たちは、町を大切に、より良くしていきたいと考える遊佐町の若きリーダーです。最後に、私が遊佐町に3年間身を置くことができたのは、少年議会が学校の教科書に載っていたことがきっかけでした。遊佐町に出会えたことは、私の一番の誇りです。ともに切磋琢磨した仲間、そして常に支えてくださった皆様。3年間ありがとうございました。

少年副議長 松本 直也

遊佐高校3年生の松本直也です。私は高校生活の3年間少年議会に参加してきましたが、このように発表するのめどうとう最後になってしまいました。そのため、私にとって最後に相応しいようにしますので、よろしくお願いします。

今までの活動を振り返ってまず感じることは、今年は私が少年議会として活動してきた中で、一番議論が白熱しました。今年は私が全員協議会の時に司会進行をすることも多々合ったのですが、良くも悪くも深く議論が交わされました。この経験で多人数の意見をまとめる難しさが身に染みてわかりました。改めて、普段の全員協議会で慣れた手つきで司会進行している佐藤楓少年町長に感服いたしました。

そしてもう一つ感じることは、このメンバーで、この仲間たちで活動できたことが本当に嬉しかった、ということです。全員協議会やイベントでみんなと笑い合ったりしながら話合った時間があつという間に過ぎていました。今年は最後というのもあり、メンバーたちとの交流も例年より積極的にしました。それぞれ一人一人の個性を改めて感じ、この仲間達のもとで活動できて幸せだなと思いました。そこで今まで一緒に活動してきたみなさんに言わせてください。圧倒的感謝。本当にありがとうございました。

最後になりますが、私がこの高校生活で経験した3年間の少年議会の活動は、貴重な時間を過ごしたとはっきり言えます。そして私たち高校3年生はそれぞれの道に飛び立っていきます。今後の人生の中で経験できるかどうかの体験をここではさせてくれました。もう思い残すことはありません。この思い出を大事にし、今後も頑張っていきたいと思います。今までありがとうございました。

少年議員 池田 栞菜

私は遊佐中学校2年の池田栞菜です。

まず少年議会メンバーの皆様、約半年間お世話になりました。先輩方に囲まれながら少年議会の活動が行えたことで先輩方から学ぶことが多くとても楽しく充実した活動となりました。学校外での異学年との交流はなかなか難しいものだと思っているのでこうして少年議会であくさん交流できたことを嬉しく思います。

今期の活動を通し感じたことが2つあります。

まず一つ目は中学生の参加者が前期と比べ増えたことです。前期での活動では少年議会メンバーの中学生3人がイベントに参加しましたがそれ以外の中学生が参加することはありませんでした。前期の中学生メンバーの中で”中学生の参加者を増やす”というのがちょっとした目標になりました。今期はその目標があったことからなのか少年議会メンバーに中学生が増え、イベントへの中学生の参加者も劇的にUPしました。前期のイベントと比べると発言が必要な場面や少し難しい内容の講話、参加者からの手伝いが必要な場面がありました。

が、自ら進んで動いてくれる中学生も多くイベントの運営もしやすかったように感じています。

そして2つ目、こちらは課題だと思った点なのですがイベントでの時間設定が甘かったこともあり、終了の時間が予定を過ぎてしまい参加者の皆様にはご迷惑をおかけしました。来期、またイベントを開催する際はひとつひとつの作業の時間設定にゆとりを持ち充実した活動になるように善処してまいります。

私は来期も少年議会に立候補し、活動していきたいと思っております。来期は今期よりも話し合いの場を増やし“少年議会メンバーが目指す遊佐町ってなんなのか”など考えて遊佐町に魅力を感じる方が1人でも増えるようなきっかけになる活動にしたいと思います。約半年間ありがとうございました。そして来期もまた機会があればよろしくお願いいたします。

少年議員 阿部 颯空

遊佐中学校3年の阿部颯空です。今期が初めての少年議会でしたが、地域の魅力や課題、1つのイベントを作り上げることの難しさを感じることができました。その中で特に印象に残ったことを2つ挙げたいと思います。

1つ目は、遊佐町議会議員の方々との意見交換会です。この会では、遊佐の知名度を上げるために何ができるかということテーマに話し合い、私たちが普段感じている疑問やアイデアを直接議員の方に提案することができました。「米〜ちゃん」を題材に映画を製作するというユニークな案なども生まれ、非常に熱い討議になったと思います。

2つ目は、今期の政策である「ゆざまち防災キャンプ」です。小中学生が楽しく防災知識を身につけられる内容を目指して議論を重ねてきました。しかし、参加者の安全性を保証できるか、実際に役立つ内容なのかなど、様々な視点から内容を考える必要があり、企画づくりは予想以上に難しいものでした。それでも1つ1つ粘り強く話し合ったことで、最終的には参加者が体験しながら学べるイベントに仕上げることができましたと感じています。一方で、参加者を集めるのに苦戦したことから、小中学生の間で少年議会の活動が十分に知られていないという課題にも気づきました。そのため、来期の少年議会では、少年議会の取り組みをより積極的に発信していく必要があると考えています。

この半年間の活動を通して、多くのことを学ばせていただきました。そして、少年議会で得た経験をこれから始まる高校生活でも活かしていきたいと思っています。

少年議員 國分 いつみ

遊佐中学校3年の國分いつみです。

今年度の少年議会では2つの政策を実現しました。

1つは「ゆざまち防災キャンプ」です。この政策は昨年の豪雨災害を受け、メンバー内で若い世代にも防災について知ってもらったほうがいいのではないかと考えて計画したものです。

2つめは「遊佐町をPRする葉」の作成です。こちらは町外から遊佐町にやってくる方々に遊佐町の魅力を手元に残る形で発信したいという思いから計画しました。

今期の活動で特に力を入れたのは、少年議会のイベントにいかにして中学生を呼び込むかということです。昨年、少年議会が開催したイベントには遊佐中生が全く来ないという課題

がありました。その課題を改善するために友人に声を掛けるのはもちろんのこと、中学校の放送で呼び掛けを行ったりしました。その結果、今年の防災キャンプには多くの中学生にご参加いただくことができました。

しかし、今年の少年議会では1つの政策を決めるのにかなり時間を費やしてしまい、準備を行う時間が少なくなってしまうということがありました。来年度の少年議会ではよりスムーズに政策決定し、準備期間を多くして更にレベルアップしたものをつくっていききたいと思いました。

私が少年議会に参加したのは今年で3回目でしたが、遊佐町への愛着はこれまで以上に強くなり、自分の成長へと繋げることができました。来年度の少年議会に参加できるかは分かりませんが、今回の経験を活かして高校でも頑張っていきたいと思います。

1年間ありがとうございました。

少年議員 齋藤 由芙里

遊佐中学校3年の齋藤由芙里です。私は今年が初めての少年議会だったので、初めの頃は不安と緊張でいっぱいでした。更に、部活動などで忙しく、あまり参加できなかった時期もあり、それが私の唯一の後悔です。それ以外は何一つ後悔していません。私は少年議員として、このメンバーで半年間活動できたことをとても嬉しく思っています。

今期の少年議会では主に、若い世代にも正しい防災知識を身につけてもらうことを目的とした「ゆざまち防災キャンプ」、そして、遊佐町の知名度を上げるための取り組みとして「少年議会オリジナルの葉の作成」を実施しました。小中学生を対象とした防災キャンプでは、小学生とも交流しながら活動したことで、楽しみながらためになる学びに繋げることができたのではないかと思います。主催者である私たちも、最初から最後まで楽しみながら進めることができました。

ですが、1つだけ課題に感じた点がありました。それはテントなどの組み立て体験についてです。テントの組み立ては小学生には難しく、中学生と少年議会メンバーが中心になってしまったことにより、小学生の子たちが何もすることがない時間が生じてしまった点です。そのため、今後同様のイベントを実施する際には、しっかりと全員に役割を与えられるようにより細かいところまで計画しなくてはいけないと感じました。

また、今期は防災キャンプの方に時間をかけすぎてしまい、葉の作成に割く時間が極端に少なくなってしまったことが議会全体の反省点だと思っています。綿密に計画を立て、効率的に進めることが改善への鍵になると思いますが、半年にも満たない短い期間ではそれも簡単ではないということも今期の議会で改めて実感しました。

この半年間の活動はとても充実していました。これからも大好きな遊佐町がより良くなっていくことを願っています。一緒に活動してくれた皆さん、本当にお疲れさまでした!!

少年議員 菅原 湊

遊佐中学校3年の菅原湊です。私は、今年初めて少年議会に参加しました。はじめは緊張や不安でいっぱいでしたが、今となっては優しい先輩方や後輩たちと楽しく話し合いができ、2つの政策を実施することができました。

1つ目は防災キャンプです。小学生から中学生までを対象にしたイベントを開催しました。去年少年議会に参加していた友達からは去年開催したイベントでは、中学生が全く参加しなかったと聞いていたのでとても不安でしたが、学校で一生懸命宣伝したおかげで、たくさんの方々にご参加いただくことができました。

2つ目は遊佐町をPRする葉の作成です。遊佐町の景色や遊佐町の中高生の日常を表現した葉と、少しユーモアを交えた葉の2パターンのデザインを考えました。メンバーの皆と慎重に協議を重ねたことで、遊佐町の魅力を発信できる素晴らしい葉にできたと感じています。

この2つの政策を通して、少年議会のメンバーだけでなく、町民の方々ともより深いところで交流できたと思います。私は来年、高校生になっても少年議会に参加したいと考えています。次は今年できなかったことにも臆せず挑戦してみようと思っています。少年議会のメンバー、そして活動に携わってくれた皆さん、本当にありがとうございました。

少年議員 畠中 彪良

今年度、少年議員を務めさせて頂きました、遊佐中学校3年生の畠中彪良です。

今期の少年議会では、体験型防災学習イベント「防災キャンプ」と、遊佐町の思い出の一つとなるものとしての葉の作成を行いました。

これらの活動を振り返って、私は達成感を感じる一方、課題も感じています。

昨年度は「小中学生の参加者が少なく、少年議会の活動の認知度があまり高くない」という問題点がありましたが、今期の防災キャンプでは対象を小中学生に絞った事で、この問題点は幾分か改善できたと思います。

しかし、依然として小学生の参加者は多くなく、これから少年議員の被選挙権を持つ上で、「少年議会がどういうものか知らない」事が参加に対する障壁の一つになっているのではないのでしょうか。

そこで、来期の少年議会では、中学生へのアプローチは維持しつつ、より小学生への働きかけを強化して欲しいと思っています。

最後に、中学校生活最後の年に、仲間達と額を突き合わせ、政策実現の為に腐心し、力を合わせて走り抜けたと感じています。関係者の皆様、とても貴重な経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

少年議員 松本 琉奈

遊佐高校1年の松本琉奈です。

来年、もしまた少年議会に参加させていただける機会があれば、今年よりも積極的に意見を出し、遊佐町をより良くするための政策を立案したいと考えています。

特に、若い世代だからこそ気づける課題や、私たち高校生の視点で「こんな町になったらいいな」と思うアイデアを、もっと自分から発信していきたいです。

そのためにも、普段の学校生活や地域での経験を大切にしながら、気づいたことをメモしたり、友達や家族と話し合ったりして、意見の引き出しを増やしていきたいと思っています。

来年は、今年より一歩踏み出して、少年議会の活動により深く貢献できる存在になりたいです。

少年議員 森岡 皇士郎

遊佐高校2年の森岡皇士郎です。昨年に引き続き2回目の参加となりました。今期は「地域の安全」と「魅力発信」を目的とした活動に尽力しました。

まず今期の政策である「ゆざまち防災キャンプ」では、少年議会で作ったオリジナルのクイズ大会を実施し、また防災食を作る際も各班で協力し合い、上手に調理することができました。当初は人が集まるか不安でしたが、当日は多くの方にお越しいただき、主体的に動くことができました。

もう一つの活動として「遊佐町をPRする葉の作成」を少年議会メンバー主体で行いました。メンバーと協力し、遊佐の美しい風景写真を選定・活用することで、地元の魅力を再確認することができました。

少年監査 金澤 鳴

遊佐高校1年の金澤鳴です。

今期の少年議会では、昨年の豪雨災害をきっかけに、防災について理解を深めるための「防災キャンプ」を実施しました。準備の段階から知らない知識に触れることが多く、企画内容を考える中で、自分自身も防災について考える良い機会となりました。

初めての少年議会は分からないことだらけでしたがだからこそ「挑戦してみたい」と思ったことには積極的に立候補し、自分に出来ることを一つずつ行ってきました。その経験を通して、人と意見を交わしながら活動をしてきました。自分がしたことない経験ばかりで自分のレベルアップにも繋がったと思います。

一方で、私が活動の中で課題だと感じたことは議会の予算の使い方についてです。現在、少年議会では毎週少年議員全員分のお菓子や菓子パンを購入していただいております、その分の費用が町の予算から支出されています。少年議会の全員協議会は夕方に開催されることもあり、町の方で軽食の配慮をしてくださっているのだと思うのですが、町をより良くするためのお金でもあるため防災や地域の活動により多くの予算を回すこともできるのではないかと感じました。

最後にこの半年間一緒に活動してきた少年議会みなさん、短い間でしたがお世話になりました。

少年監査 松本 杏彩

遊佐高等学校2年の松本杏彩です。私は今回、2回目の少年議会への参加となりました。今期は、防災キャンプの実施と、町の認知度向上を目的とした葉づくりの二つの活動に取り組みました。

葉は、町のマスコットキャラクターである米〜ちゃんを用いたものと、町の景色を用いたものの二種類を制作しました。議会メンバーで役割分担を行い、私は町の景色を用いた葉の制作を担当しました。今後、町内外の公共の場に置かれる予定です。

私からは、その中でも特に力を入れて取り組んだ防災キャンプについて報告させていただきます。

昨年7月に庄内を襲った大雨災害では、遊佐町においても浸水等で大きな被害が出ました。この出来事を通して、防災は一部の人の問題ではなく、町全体で向き合うべき課題であると強く感じました。このような思いから今期の少年議会では小中学生を対象とした防災キャンプの開催を計画しました。昨年度の課題であった中学生の参加率の低さの改善を図るとともに、若いうちから防災意識を持ってもらうこと、少年議会の認知度向上を目的としました。小学1年から中学3年生までの幅広い年齢層を対象としたため、内容の設計は非常に難しく、小学生が難しそうにしている様子や中学生が暇を持て余しているのではないかと感じる場面があり、全員が楽しめる活動の難しさを痛感しました。

一方で、私が作成したチラシが採用され、多くの参加者が集まり、「楽しかった」という声を聞くことができたことは、大きな達成感につながりました。

今後、次年度以降の少年議会に参加できるかは分かりませんが、今回の活動で得た経験や気づきが次の活動につながり、より多くの若い世代が地域課題を自分ごととして考えるきっかけになることを願っています。

少年監査 村上 つかさ

遊佐高校2年の村上つかさです。今年の少年議会では防災キャンプと葉作りを行いました。

防災キャンプでは地震を題材に、小学生、中学生という若い世代を中心に開催しました。楽しく学び記憶に残してもらうことを目的に、ダンボールベッドとテントの組み立て方のレクチャー、防災食作り、防災クイズなどを実施しました。参加してくださった方々からも楽しんでいる様子が伺え、少年議会のイベントとして良い結果が得られたと思います。

今年度の少年議会ではイベントの中で班長を務めたり、自ら意見を出したりすることも多く、自分自身の成長はもちろんのこと、少年議会のメンバーとしても貢献できたことを嬉しく思っています。

しかしながら、今年度の少年議会だけではやり切れなかったこともあるので、来年度の少年議会のメンバーとなる事ができたらより力を入れて活動したいと思います。

少年監査 佐藤 和香

遊佐高校3年佐藤和香です。

今年度の少年議会では、これまでやったことのない防災キャンプを開催し、地域の方々と一緒に、じゃがりこを使ったポテトサラダやフルーツポンチを作る体験をしました。非常時でもできる工夫を学びながら、防災について楽しく理解を深めることができ、とても印象に残っています。

活動を通して感じた課題は、防災に関する情報が若い世代にはまだ分かりづらいという点です。学校や地域で、防災に触れられる機会がもっと増えると、町全体の意識が高まるのではないかと感じました。

私は高校3年生で、今年が少年議会に参加する最後の年になります。三年間の活動を振り返ると、多くのことを学び、町のことを自分ごととして考える大切さを知りました。ここまで続けてこられたのは、役場の方々や地域の皆さん、そして一緒に活動したメンバーのおかげです。これまで支えてくださったすべての方に心から感謝しています。お世話になりました。

少年監査 永原 たびと

遊佐高校3年生の永原たびとです。僕は高校生活の3年間少年議会に参加してきましたが、今日のこの場をもってついに終わりを迎えてしまうことに少し寂しさを感じています。

今年度、私たちは大きな取り組みとして「ゆざまち防災キャンプ」を開催しました。この政策には、これまでにない大きな意義があると感じています。昨年の豪雨災害から1年以上が経ち、若者が防災知識を身につけ、同じような災害が起きても対策ができるように。そして何より、あの災害の記憶を風化させないために、そんな強いメッセージが込められています。

当日は、少年議会メンバーの他に小学1年生から中学生まで約20名が参加し、みんな楽しみながら防災について学んでくれました。次の世代へ大切な知恵やスキルを伝える、価値ある機会になったと感じています。

また今年度は、私自身とても楽しく取り組むことができました。それは、今年の目標であった「積極的に行動し、発言する」という姿勢を貫けたからだと思います。その反面、議論が長引いてしまい企画がなかなかまとまらず、ご迷惑をかけてしまった場面もあったかもしれません。ですが、あのくらい意見がぶつかり合うからこそ、より良い政策が生まれるのではないかと感じています。

少年議会が、誰もが自由な形で、前向きに意見を発信できる場であり続けてほしいと願っています。来年も参加しちゃだめですかね(笑)。この3年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

少年事務局長 石田 美月

遊佐高校3年の石田美月です。

今期は進路活動が忙しく、活動に参加する機会がほとんどありませんでした。今年度が最後の参加となる中、全員協議会にも出席できず、とても心残りに感じています。

しかし、今年の少年議会では、小中学生を対象にした防災キャンプが行われ、非常食づくりなどを通して”自分で命を守る力を育てる取り組みが実施されたと聞きました。参加はできなかったものの、地域の子どもたちにとって貴重な学びになったのではないかと思います。

来年度以降は後輩たちが中心になって、遊佐町をより良くする活動が続いていくことを願っています。私自身も、この経験を忘れず、地域に関わり続けたいです。

少年事務局長 土門 慎音

遊佐中学校1年の土門慎音です。

私は、少年議会の参加するのは今年が初めてでした。はじめは何も分かりませんでしたが、少年議会の先輩方が色々な事を親切に教えてくださってとても心強かったです。

私は、なんとなく小学校を卒業してしまったのですが、少年議会で活動する中で、より大人に近づけた感じがして嬉しかったです。

また、週に一度の全員協議会の集まりは、私にとって楽しみの1つでした。最初はハキハキと自分の意見を述べる他のメンバーをただ茫然と見つめるだけでしたが、回を重ねるごと

に自発的に挙手して発言できるようになり、少年議会の一員として精一杯活動できたと思っています。

少年議会の皆と活動してきたこの半年間はとても楽しかったです。来年も続けることができればいいと考えています。

最後に私に色々教えてくださった少年議会の先輩方、私たちの活動の支えてくれた皆様、半年間大変お世話になりました。

少年事務局次長 高坂 叶夢

遊佐中学校3年の高坂叶夢です。少年議会への参加は今回が初めてでした。最初は緊張と不安でいっぱいでしたが、他のメンバーと協力しながら、楽しく活動することができました。

今期の少年議会では、体験型のイベントということで「ゆざまち防災キャンプ」を、そして遊佐町を多くの人に知ってもらうための取り組みとしてオリジナルの葉の作成を行いました。防災キャンプには多くの小中学生にご参加いただくことができました。この防災キャンプを通じて、特に心に残ったことが2つあります。

1つめは、山形遊佐洋上風力合同会社さんがワークショップとして実施してくださったカードゲームです。私はカードゲームが好きで普段から遊んでいるのですが、同じ班になった小中学生と一緒に、とても楽しい時間を過ごすことができました。

2つめは防災食づくりについてです。私はほとんど料理ができないのですが、自分たちで協力して作った料理ということで、とても美味しく感じられました。

反省点としては時間です。料理に時間がかかり、片づけも遅れてしまったため、解散時間が予定より遅くなってしまいました。来年度も少年議会に参加する予定ですので、次イベントでは、この時間管理の課題を改善できればと思います。1年間どうもありがとうございました。

少年事務局次長 齋藤 玲華

遊佐高校1年の齋藤玲華です。

私は今年初めて少年議会に参加し、中高生だけでイベントを企画・運営することや、鹿の角切などの普段の生活ではなかなかできない貴重な経験を通して、多くの学びを得ることができました。

まず防災キャンプでは限られた食品で楽しく調理をしたり、災害を想定したクイズなどを行い、災害時に必要な知識やチームワークの大切さを実感しました。特に、役割分担をして作業を進めたことで、仲間とのコミュニケーションが円滑になり、自分の意見を積極的に伝えることの大切さを学びました。

また、鹿の角切り体験では、野生動物との関わり方や地域の自然環境の維持について深く考えるきっかけになりました。実際に間近で作業を見たり手伝ったりすることで、命を扱う責任や、地域の伝統行事に込められた思いを知ることができました。これらの活動を通して、地域を支えるためには多くの人の協力や努力があることを理解し、私自身もその一員になりたいという気持ちが強まりました。

来期の少年議会では、学んだことを生かし、防災や環境保全に関する新しい提案づくりに挑戦したいと考えています。また、もっと多くの地域の人と交流し、若い世代として地域の未来に貢献できる活動を広げていきたいです。

少年事務局次長 前田 彩花

遊佐高校1年の前田彩花です。

私は今年初めて少年議会に参加し、活動を通して普段関わる機会のない方々とも意見を交わすことができました。自分では思いつかなかったさまざまな考え方に触れることで、物事の捉え方の視野が広がったと感じています。町への要望を出す回では、自分の考えを整理して提出することができ、ひとつの経験としてとても印象に残りました。また、遊佐町防災キャンプには体調不良で参加できなかったものの、企画する過程には関わることができ、全体の流れを知る良い機会になりました。また少年議会を通して少しでも遊佐町について知ることができとても良かったです。

その一方で、話し合いの場で新しい案を積極的に出せなかった点は大きな課題として受け止めています。周囲の様子をうかがってしまい、気づいたことがあってもすぐに発言することが難しく、そのまま流れてしまうことが何度かありました。この部分については改善が必要だと感じており、来期は小さな意見でもためらわず口にできるよう意識したいと思っています。

来期は、今年度で得た経験を生かしながら、自分の考えをその場で伝えたり、必要な場面で行動を起こしたりできるよう少しずつ取り組んでいきたいです。自分が参加することで、活動の雰囲気や流れがより良いものになるよう、関わり方を広げていければと考えています。

少年
議会

若者の力で、遊佐の未来をつくる
～遊佐町少年町長・少年議員公選事業～

山形県遊佐町教育委員会 社会教育係

少年
議会

youthgikai@town.yuza.lg.jp

少年
議会

湧水の里・遊佐町

山形県と秋田県の県境、庄内平野の北端に位置

- 人 口：11,897人（2025年9月末現在）面積：208.39 K㎡
- 自 然：五大自然（山 川 海 平野 砂丘）
日本海・鳥海山（2,236m）・庄内平野
鳥海山・飛島ジオパーク（日本ジオパーク）
- 産 業：米、砂丘メロン、パプリカ、庄内柿、促成山菜





■ 少年議会設立の きっかけとねらい



少年
議会

きっかけ－当時の情勢－

2000年頃の遊佐町で抱える問題…

- 平成の大合併
- 進学や就職等で遊佐町を離れる若者
- 人口減少、職住分離、生活形態の多様化

↓

時代を牽引する**若者が減少している**
問題を打破し時代をけん引するのは常に若者

少年
議会

きっかけ－町の考え－

- **若者自身**からは**地域社会の一員**であることを自覚してもらいたい
- 若者の**活躍の場**を創るための**環境づくり**が必要である
- 若者の**力・意見を取り入れたまちづくり**を推進していこう
- 若者からさらに**町へ愛着や関心**を持ってもらいたい

少年
議会

きっかけ－少年議会の誕生－

『自分たち』の力で、『自分たち』が本当に求める
遊佐のまちをつくろう!!

2003年－少年町長・少年議員公選事業誕生



少年議会の特徴

少年
議会

① 自ら立候補する

- 定員：少年町長（1名） 少年議員（10名）
- 選挙権・被選挙権：町内在住・在学の中学生、高校生
- 令和6年度 有権者 556名

② 独自の政策実現のための予算をもつ

第一期（2003年） 50万円
第二期（2004年） 75万円
第三期（2005年） 50万円
第四期（2006年）～現在 45万円



少年議会の特徴

少年
議会

③ 町に対して一般質問を行うことができる

- 中高生が普段生活をしていて疑問や不便に思っていることを町に対し要望を伝えることができる
- 町は要望に対して町にとって必要だと感じた際には、担当課で予算化し対応する

④ 少年議会独自の政策を行うことができる

- 少年議会独自で政策をたて、政策予算を使いながら実現していく

一般質問と独自政策の内容は
中高生を対象にしたアンケートと立候補したメンバーの考えをもとに決定される



1年の流れ

少年
議会

全体スケジュール

5月上旬	各高校&中学校生徒への説明会
5月中旬	立候補受付期間
6月中旬	投票（各学校にて）
6月下旬 ～7月上旬	開票・当選証書交付式 第1回 少年議会（所信表明）
7月～8月	政策立案期間
8月下旬	第2回 少年議会（一般質問・独自政策の発表）
8月～12月	政策実施期間（視察研修・意見交換会）
12月下旬	第3回 少年議会（事業報告）



立候補者募集

少年
議会

少年議会プロジェクト委員

- 選挙管理委員会、議会事務局、企画課、教育委員会の町職員から組織
- 学校を訪問して立候補者募集

選挙(広報)公報の作成

- 立候補者の顔写真と立候補の抱負が記載
- 選挙になった場合、有権者はこれらを参考に投票



投・開票

少年
議会

定数を越えた時は、投票に

- 学校に出向いて、その場で投票
- 投票率：84.71%（第22期少年議会）



開票

- プロジェクト委員で開票
- 一般の方も傍聴可能



少年議会

少年
議会

当選証書付与式・第1回少年議会

- 当選証書の付与 → 少年町長、少年議員
- 委嘱状の交付 → 少年副町長など
- 第1回少年議会で所信表明



第2回少年議会

- 少年議会から町への一般質問（要望）
- 少年議会独自政策の発表

第3回少年議会

- 少年議会事業報告



全員協議会

少年
議会

全員協議会(年約18回)

- 少年議会のメンバーだけで集まり、政策の実現に向けて行うもの



昨年度の政策

少年
議会

政策① 軽スポーツイベント『We スポーツ』の開催

- 全町民への回覧や周辺地区の中学校・高校へのチラシ配布を通じて周知
+ 町内小中高校 + お隣酒田市の高校4校へチラシの配布

合計 59 名もの人が集まり、交流を深めました！



昨年度の政策

少年
議会

政策② Make a 名画の開催

- 町の新しいシンボルになるか……
下絵に色を塗る形で小さい子から大人まで参加できるイベントを開催

計 42人で協力して制作しました！



少年議会説明スライド

少年
議会

- 少年議会が実現してきた政策について



遊佐町イメージ
キャラクター

「米〜ちゃん」

少年
議会

町民が一つにまとまるよう遊佐町のシンボルが欲しい
(有権者の声)

- 第2期少年議会が全町民対象に募集し、選考・決定
- 2004年に誕生！ **今も町内で愛されているキャラクター！！**

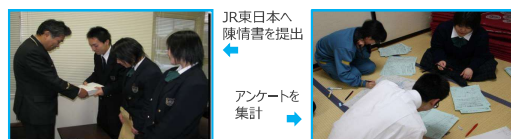


要望書・陳情書の提出

少年
議会

若者の要望を集約し、要望 → 町や関係機関へ

- 若者の要望を町に届けるため、現地調査や署名活動
- 要望書・陳情書を作成して町・関係機関に提出
- 街灯・防雪柵の設置など一部実現



町議会議員との意見交換会の実施

少年
議会

- 少年議会の政策を充実させるために大人の議員たちの意見も参考にしたい！



町議会議員との意見交換会の実施（第17期～）

- グループに分かれて少年議会の政策について協議
- 第19期～定例化となり政策としてではなく年間スケジュールの一部として実施



少年議会説明スライド

少年
議会

■ 本事業の目的達成のために



本事業の目的達成のために

少年
議会

【議員の主体性を尊重する】



- アドバイスや提案は基本的に行わないようにする。
 - ・大人が意見を言うと、正しいように感じてしまうため
 - ・やらされていると感じてしまうと、意欲が減退する可能性があるため
- 学生の本分に沿った活動を行う
etc)強制ではないこと、忙しい時期の活動は行わない



本事業の目的達成のために

少年
議会

【学校との協力事項】



- 管内の各学校に少年議会の担当の先生を配置して頂いている。
- 担当の先生方には立候補募集期間前に行う事業説明会、選挙があった際には投票の日程の取りまとめをお願いしている。



本事業の目的達成のために

少年
議会

【保護者からのご協力】



- 少年議会のメンバーへの文書の送付や連絡対応
- 送迎など、活動に対するご理解とご協力

事業の初期はご理解を頂いておらず、親の了承が得られずに立候補を断念した学生もありました。町も時間を過ぎた活動を行った際にはお叱りを受けたこともありました。
少年議会活動には保護者の皆さまのご理解・ご協力がなければ活動できません。

少年議会説明スライド

少年
議会

■ 成果と課題



事業の成果①

少年
議会

【少年町長・少年議員】



2022年度に行われた第1期から20期で少年議会に立候補した全員にアンケートを送付。

- 遊佐町への**関心や愛着**に変化があった（60%）
- **まちづくりへの興味**が生まれた（67%）

2024年現在で少年議会経験者から町長や町議会議員への立候補者は出ていないが、役場職員、まちセンの職員、スポ少コーチなど、地元で活躍している人が増えてきている。

また、昨年度は6年間少年議会に所属した学生や、今年は親が少年議会に所属して子どもも立候補したことも、20年を超える事業の時の流れを感じる出来事の一つとなりました。

事業の成果②

少年
議会

【立候補者数が安定してきている】



立候補者の確保に苦しんだ年が続いた
（第3期～第15期まで議員の立候補者数が定員を超えなかった）

町としても**事業を続けるかどうか**、アンケートを取るなどして本当にこの事業が必要なのかを議論された……

結果……事業は**継続**することに

続いた理由は、第10期の**少年議会のメンバーから、これからも続けて欲しいという思い**を伝えられたことが大きい

事業の成果③

少年
議会

【立候補者数が安定してきている】



従来のアプローチ方法
その年度の有権者を対象にした事業説明会

- ①2017年からは年度末に**小学6年生を対象にした少年議会の事業説明会**を開催している。
次年度からは自分にも関係があるんだということを認識してもらう
- ②遊佐高校への進学を考えている学生への説明会時に、少年議会の紹介を盛り込んでもらっている
→**少年議会が理由で**遊佐高への進学を決めた学生もいました

マニフェスト大賞2021

優秀成果部門 最優秀賞受賞

少年
議会

全国各地から2,730件の応募があり、
7部門のうち、優秀成果部門の最優秀賞を受賞しました！

■ 成果部門は生活者起点の立場に立った活動を通じて成果を出しているものを評価する賞。若者目線での活動が評価されての受賞



今後の課題

少年
議会

本事業についての更なる周知



- 有権者や地域の大人からより一層少年議会について知ってもらい、**活動に参加・協働**してもらいながら事業を進める必要があります。

立候補者の確保

- 毎年新しい立候補者の確保が課題となっております。有権者の人数については2003年当時は1,316人いましたが、令和6年度は556人です。有権者である**中学生・高校生に興味を持ってもらえる**ような活動内容のPRと、保護者、関係機関への協力の呼びかけを行っていきたい。

少年
議会

ご清聴ありがとうございました
Youthgikai@town.yuza.lg.jp



轟け、若者のエネルギー！ 第23期少年議会

少年議会とは

町では、若者の力によるまちづくりを目指し、町在住・在学の中高校生の中から「少年町長」と「少年議員」を選挙で選出。少年議会を開催しています。少年町長と少年議員は、町の若者代表として議論して政策を決めています。

構成人数

第23期少年議会は、全22名で活動しています。

これまでの活動

第22期は、軽スポーツイベント「Weスポーツ」とアートイベント「Make a 名画」を開催し、町内を盛り上げ、町のシンボルになるものを制作しました。過去には、遊佐町イメージキャラクター「米ちゃん」の発案やJRのダイヤ改正への要望などを実現し、若者目線の行政参画を進めています。

若者目線による政策実現へ

6月18日、少年町長・少年議員選挙開票作業。6月23日には、少

年町長・少年議員当選証書付与式および第1回少年議会が行われました。遊佐町長より当選証書、少年町長より任命書が手渡された後、所信表明を行い第23期少年議会がスタートしました。

少年町長に就任した佐藤楓さんは、3期連続で少年町長を務めます。第23期少年議会の活動をするにあたり、「町の未来のために政策の実現はもちろん、少年議会もさらに活躍できる土台作りをしていきたい」と所信を述べました。23期目を迎えた少年議会に今後もご期待ください。



所信表明の様子



投票の様子
(遊佐中)



当選証書付与の様子

第23期少年議会メンバー

少年町長 佐藤 楓 (酒田南高校3年) 高瀬	少年副町長 佐野 結人 (遊佐高校2年) 遊佐	少年議員 池田 葵葉 (遊佐中学校2年) 高瀬	阿部 颯空 (遊佐中学校3年) 吹浦	國分いつみ (遊佐中学校3年) 遊佐	齋藤由美里 (遊佐中学校3年) 遊佐	菅原 湊 (遊佐中学校3年) 稲川	畠中 彪良 (遊佐中学校3年) 吹浦	松本 琉奈 (遊佐高校1年) 藤岡	森岡皇士郎 (遊佐高校2年) 遊佐	松本 直也 (遊佐高校3年) 藤岡	安岡 心結 (遊佐高校3年) 遊佐	少年監査 金澤 鳴 (遊佐高校1年) 遊佐	松本 杏彩 (遊佐高校2年) 遊佐	村上つかさ (遊佐高校2年) 遊佐	佐藤 和香 (遊佐高校3年) 酒田	永原たびと (遊佐高校3年) 遊佐	少年事務局次長 石田 美月 (遊佐高校3年) 遊佐	少年事務局次長 土門 慎音 (遊佐中学校1年) 藤岡	高坂 叶夢 (遊佐中学校3年) 遊佐	齋藤 玲華 (遊佐高校1年) 酒田	前田 彩花 (遊佐高校1年) 酒田
---------------------------	----------------------------	----------------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------	--------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	--------------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	------------------------------	-------------------------------	--------------------	-------------------	-------------------

問／少年町長・少年議員公選事業事務局（教育課社会教育係内） ☎72-2236

**令和7年度遊佐町少年町長・少年議員公選事業
プロジェクト委員名簿**

番号	所 属	職 名	氏 名
1	議会事務局	議事係長	船越 早苗
2	総務課（選管）	総務係主任	伊藤 真吾
3	企画課	企画係主事	風間 雅文
4	〃	観光物産係主事	堀 日奈子
5	教育課	課長	荒木 茂
6	〃	学校指導係長兼指導主事	佐藤 尚
7	〃	総務学事係主事	池田 小珠
8	〃	文化係主事	石垣 潤子
9	〃	社会教育係長	菅原 悠（事務局）
10	〃	社会教育係主任	池田 有彦（事務局）
11	〃	社会教育係主任	境 直子（事務局）
12	〃	社会教育係主事	伊藤 慧祐（事務局）
13	〃	社会教育アドバイザー	菅原 充（事務局）
14	〃	社会教育アドバイザー	高橋 共之（事務局）

◆ 遊佐町少年町長・少年議員公選事業の実施のため、遊佐町役場内にそのサポートのためのプロジェクトチームを立ち上げる。

◆ プロジェクトチームは、実際の事業を執行する際、直接若者達の支援を行う。

※ 担当課 … 議会事務局・選挙管理委員会・総務課・企画課・教育課



明日の遊佐町に
ぼくたち、わたしたちは
提案します。

遊佐町のイメージキャラクター 「米〜ちゃん（べえ〜ちゃん）」

第2期少年議会で募集されて生まれました。
今では、遊佐町を代表するキャラクターと
なっています。

